

学校施設長寿命化計画

令和3(2021)年3月

与謝野町
与謝野町宮津市中学校組合

目次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

- (1) 背景・目的..... 1
- (2) 計画期間..... 1
- (3) 計画の位置付け..... 2
- (4) 対象施設..... 2

第2章 学校施設の目指すべき姿

- (1) 学校施設の目指すべき姿..... 3

第3章 学校施設の実態

- (1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態..... 4
- (2) 学校施設の老朽化状況の実態..... 29

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

- (1) 学校施設の規模・配置計画等の方針..... 36
- (2) 改修等の基本的な方針..... 37

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

- (1) 改修等の整備水準..... 38
- (2) 維持管理の項目・手法等..... 39

第6章 長寿命化の実施計画

- (1) 改修等の優先順位付けと実施計画..... 41
- (2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果..... 46

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

- (1) 情報基盤の整備と活用..... 47
- (2) 推進体制等の整備..... 48
- (3) フォローアップ..... 49

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景・目的

与謝野町は平成 18(2006)年 3 月に 3 町（加悦町・岩滝町・野田川町）が合併して誕生しました。「与謝野町公共施設等総合管理計画（基本計画）（平成 28(2016)年 9 月策定）」（以下、「総合管理計画」という。）によると、与謝野町及び与謝野町宮津市中学校組合（以下、「本町」という。）が保有する公共建築物（一般建築物）は、197 施設、延床面積 134,933 m²、うち学校施設が 12 施設、延床面積 49,184 m²であり公共施設の約 36%の延床面積を占めています。

合併後も旧町の多くの施設を引き続き活用していましたが、総合管理計画策定時には 9 校所有していた小学校は現在 6 校に縮減されています。しかし、学校教育施設の保有面積は縮減したものの昭和 56(1981)年以前（旧耐震基準）に建設されている建物が多く存在し、安全性の低下や日常的な修繕等に係る費用の増大、大規模改修や建替え時期の集中が予想されます。

小学校 6 校、中学校 3 校を所有していますが、大規模改修の目安とされる建築後 30 年に達した建物が 37 棟中 31 棟あり、そのうち 40 年以上経過した棟は 25 棟あることから、施設の老朽化対策が喫緊の課題となっています。これまでの事後保全的な改修・改築ではなく、施設の長期間の利用を目指し、予防保全的な考え方を取り入れた長寿命化改修を行っていく必要があります。

本計画は学校施設の劣化状況や状態の変化を把握し、長寿命化により中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び平準化を図りつつ、改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的としています。

(2) 計画期間

令和 3(2021)年度から令和 42(2060)年度までの 40 年間を本計画の計画期間とします。

施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、社会情勢の変化に即したものとするため、5 年間をめぐりに計画の見直しを行うものとします。

(3) 計画の位置付け

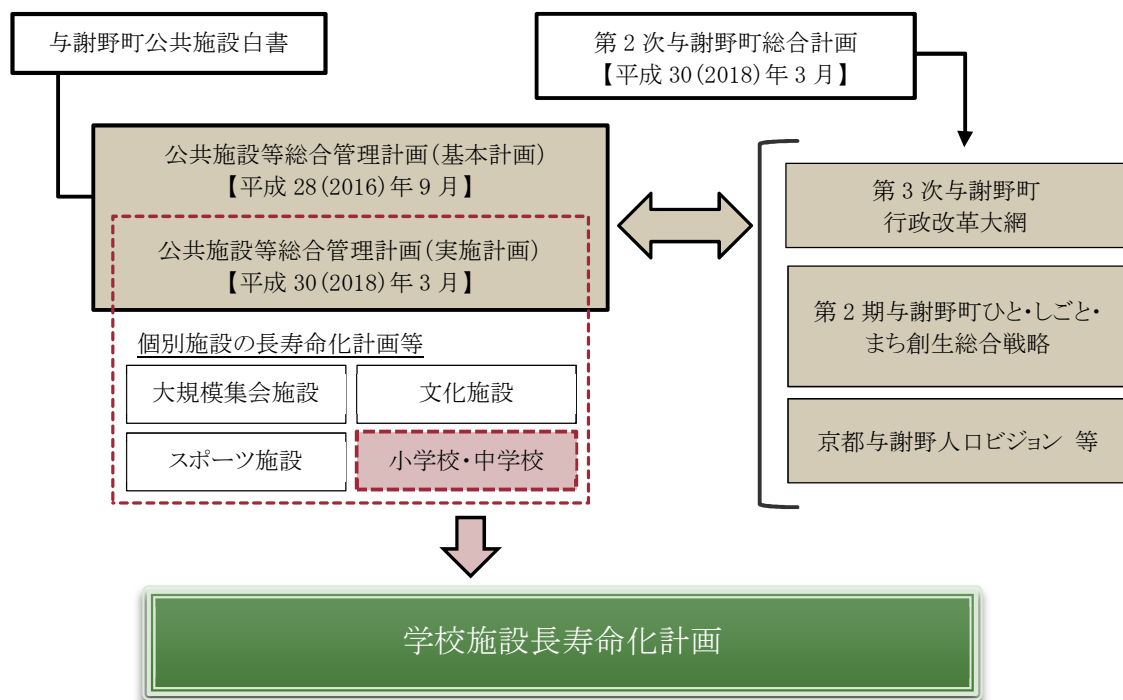


図 1：計画の位置付け

(4) 対象施設

本計画の対象施設は、小学校 6 校、中学校 3 校の合計 9 校です。延床面積は小学校 24,150 m²、中学校 19,973 m²の合計 44,123 m²です。

表 1：調査対象学校施設一覧

	施設数	棟数(棟)			
		校舎	体育館・武道場	その他	計
小学校	6	12	6	7	25
中学校	3	7	4	1	12
合計	9	19	10	8	37

	施設数	延床面積(m ²)			
		校舎	体育館・武道場	その他	計
小学校	6	18,530	4,901	719	24,150
中学校	3	15,275	4,689	9	19,973
合計	9	33,805	9,421	728	44,123

第2章 学校施設の目指すべき姿

(1) 学校施設の目指すべき姿

与謝野町総合管理計画（実施計画）（平成30年3月）（以下、総合管理計画（実施計画）という。）を踏まえ、児童数・生徒数の減少と財政負担という課題を抱える中で、よりよい教育環境を整備するため小学校の再編などを行ってまいりました。

今後さらに、大規模改修等を行い施設の機能を適切に維持しつつ、変化する教育環境にも柔軟に対応した整備を行う必要があると考えます。そのうえで、学校施設の目指すべき姿を以下のように設定します。

必要に応じた再編計画

- 児童数・生徒数の減少を考慮しながら適正規模適正配置を維持できるよう計画する。
- 学校・地域への愛着、人への思いやりなどの精神面も学べる環境を整備する。

変化する教育環境への対応

- 学習能率の向上に資する快適な学習環境を整備する。
- バリアフリーや社会環境への影響に配慮した教育環境を整備する。

第3章 学校施設の実態

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

① 計画対象施設一覧

小中学校の計画対象施設は以下の通りです。

表 2：基本情報（小学校）

施設名	敷地面積(m ²)			延床面積(m ²)			
	建物 敷地	運動場 その他	計	校舎	体育館	その他	計
加悦小学校	7,367	9,298	16,665	3,538	905	11	4,454
岩滝小学校	10,720	10,773	21,493	4,658	1,269	548	6,475
石川小学校	6,770	9,978	16,748	2,185	442	29	2,656
三河内小学校	5,358	11,576	16,934	2,761	567	73	3,401
市場小学校	7,657	11,515	19,172	3,144	1,221	20	4,385
山田小学校	5,527	9,360	14,887	2,244	497	38	2,779
合計	43,399	62,500	105,899	18,530	4,901	719	24,150

表 3：基本情報（中学校）

施設名	敷地面積(m ²)			延床面積(m ²)			
	建物 敷地	運動場 その他	計	校舎	体育館・ 武道場	その他	計
加悦中学校	7,104	11,269	18,373	4,871	1,888	0	6,759
江陽中学校	9,288	12,900	22,188	5,562	1,653	0	7,215
橋立中学校	6,186	12,641	18,827	4,842	1,148	9	5,999
合計	22,578	36,810	59,388	15,275	4,689	9	19,973

② 児童生徒数及び学級数の変化

1) 町の人口の状況

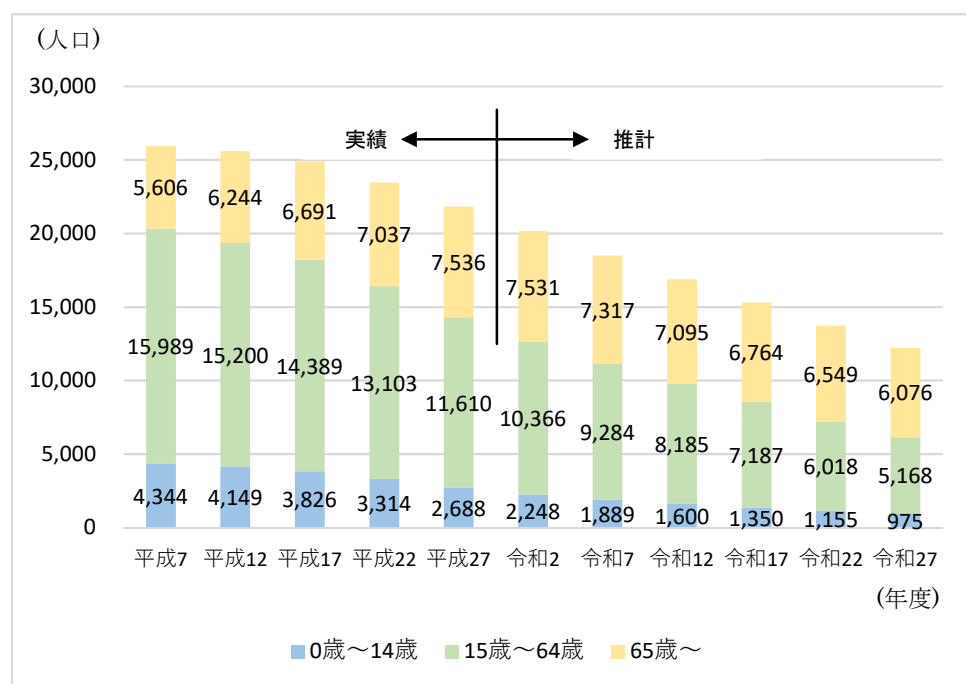
3 区分の人口について、平成 7(1995)年から減少傾向にあります。令和 7(2025)年以降も減少し、令和 27(2045)年には平成 7(1995)年の約 5 割の人口になる予測となっています。

年少人口も同様に減少傾向にあり、令和 27(2045)年には平成 7(1995)年の約 2 割の人口となる予測となっています。

人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所が平成 27(2015)年の国勢調査の結果を基に算出したものです。

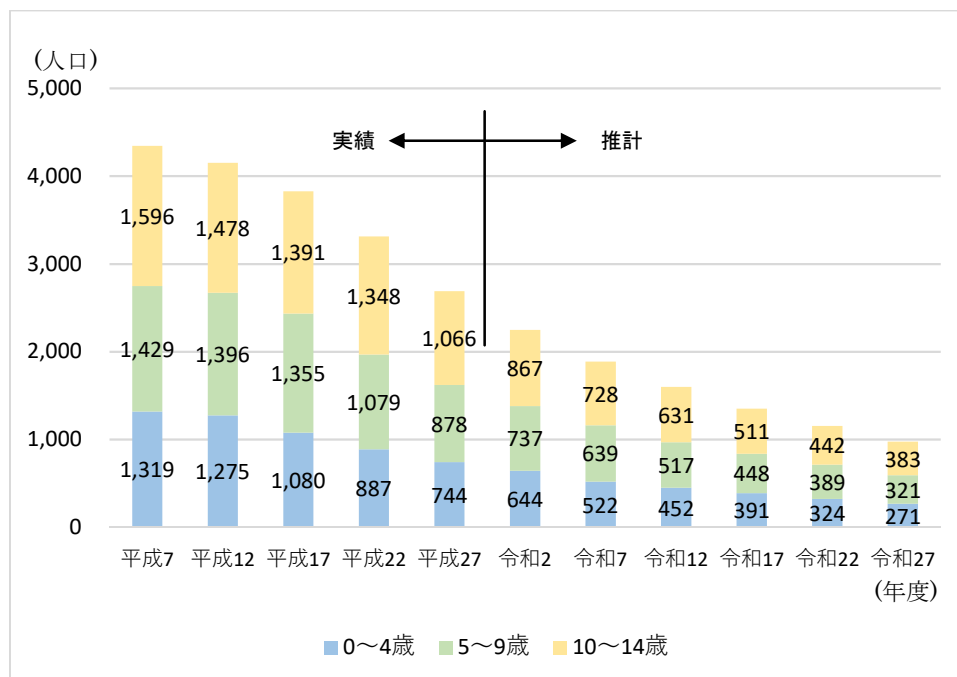
図表 1：3 区分人口の推移

(年度) (区分)	実績					推計					
	平成 7 (1995)	平成 12 (2000)	平成 17 (2005)	平成 22 (2010)	平成 27 (2015)	令和 2 (2020)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)
0 歳～14 歳	4,344	4,149	3,826	3,314	2,688	2,248	1,889	1,600	1,350	1,155	975
15 歳～64 歳	15,989	15,200	14,389	13,103	11,610	10,366	9,284	8,185	7,187	6,018	5,168
65 歳～	5,606	6,244	6,691	7,037	7,536	7,531	7,317	7,095	6,764	6,549	6,076
合計	25,939	25,593	24,906	23,454	21,834	20,145	18,490	16,880	15,301	13,722	12,219



図表 2：年少人口（5 歳区分）の推移

(年度) (区分)	実績 ←					→ 推計						(単位：人)
	平成 7 (1995)	平成 12 (2000)	平成 17 (2005)	平成 22 (2010)	平成 27 (2015)	令和 2 (2020)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)	
0～4 歳	1,319	1,275	1,080	887	744	644	522	452	391	324	271	
5～9 歳	1,429	1,396	1,355	1,079	878	737	639	517	448	389	321	
10～14 歳	1,596	1,478	1,391	1,348	1,066	867	728	631	511	442	383	
合計	4,344	4,149	3,826	3,314	2,688	2,248	1,889	1,600	1,350	1,155	975	



2) 児童生徒数の推移

令和 2 (2020) 年度現在の児童生徒数は岩滝地域 510 人、野田川地域 665 人、加悦地域 409 人であり、全地域で 1,584 人となっています。

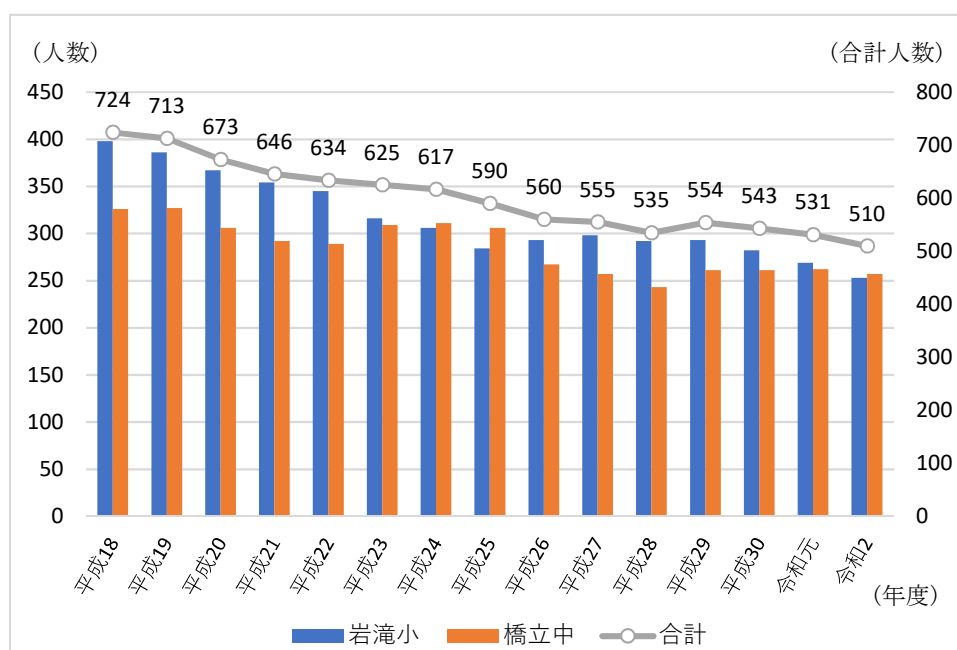
平成 18 (2006) 年度に対して岩滝地域 30% 減少、野田川地域 43% 減少、加悦地域 37% 減少し、全地域で 38% 減少しています。

図表 3：児童生徒数の推移（岩滝地域）

(単位：人)

(年度) (学校名)	平成 18 (2006)	平成 19 (2007)	平成 20 (2008)	平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)
岩滝小	398	386	367	354	345	316	306	284
橋立中	326	327	306	292	289	309	311	306
合計	724	713	673	646	634	625	617	590

(年度) (学校名)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	15 年間の 増減率
岩滝小	293	298	292	293	282	269	253	-36.4%
橋立中	267	257	243	261	261	262	257	-21.2%
合計	560	555	535	554	543	531	510	-29.6%

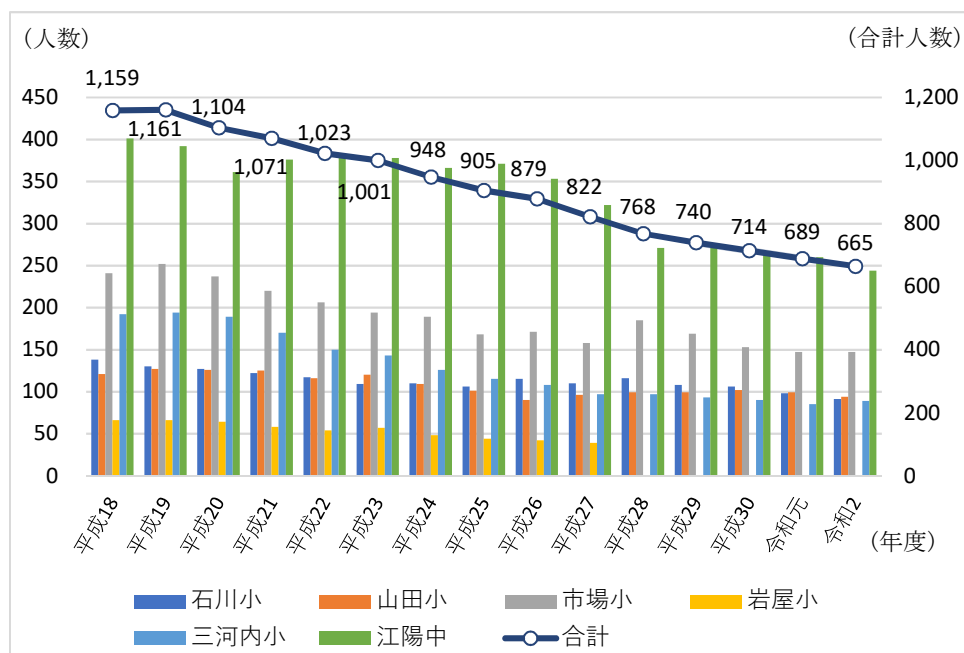


図表 4：児童生徒数の推移（野田川地域）

(単位：人)

(年度) (学校名)	平成 18 (2006)	平成 19 (2007)	平成 20 (2008)	平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)
石川小	138	130	127	122	117	109	110	106
山田小	121	127	126	125	116	120	109	101
市場小	241	252	237	220	206	194	189	168
岩屋小	66	66	64	58	54	57	48	44
三河内小	192	194	189	170	150	143	126	115
江陽中	401	392	361	376	380	378	366	371
合計	1,159	1,161	1,104	1,071	1,023	1,001	948	905

(年度) (学校名)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	15 年間の 増減率
石川小	115	110	116	108	106	98	91	-34.1%
山田小	90	96	99	99	102	99	94	-22.3%
市場小	171	158	185	169	153	147	147	-39.0%
岩屋小	42	39	0	0	0	0	0	-
三河内小	108	97	97	93	90	85	89	-53.6%
江陽中	353	322	271	271	263	260	244	-39.2%
合計	879	822	768	740	714	689	665	-42.6%



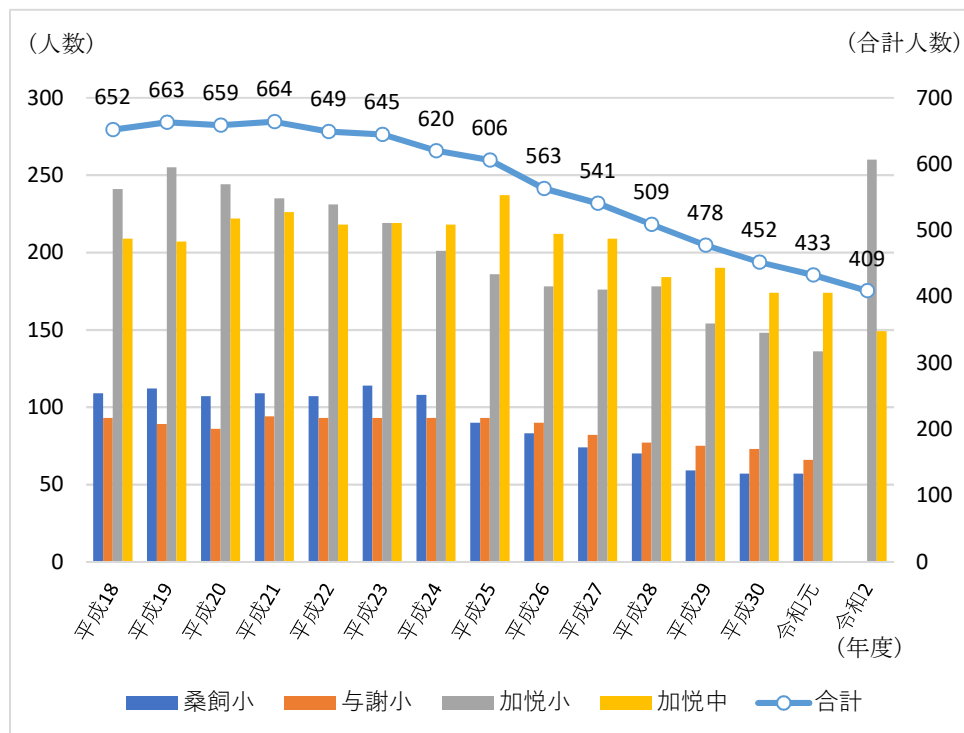
※平成 28 (2016) 年度に岩屋小学校は市場小学校に編入。

図表 5：児童生徒数の推移（加悦地域）

（単位：人）

（年度） （学校名）	平成 18 (2006)	平成 19 (2007)	平成 20 (2008)	平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)
桑飼小	109	112	107	109	107	114	108	90
与謝小	93	89	86	94	93	93	93	93
加悦小	241	255	244	235	231	219	201	186
加悦中	209	207	222	226	218	219	218	237
合計	652	663	659	664	649	645	620	606

（年度） （学校名）	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	15 年間の 増減率
桑飼小	83	74	70	59	57	57	0	-
与謝小	90	82	77	75	73	66	0	-
加悦小	178	176	178	154	148	136	260	+7.9%
加悦中	212	209	184	190	174	174	149	-28.7%
合計	563	541	509	478	452	433	409	-37.3%



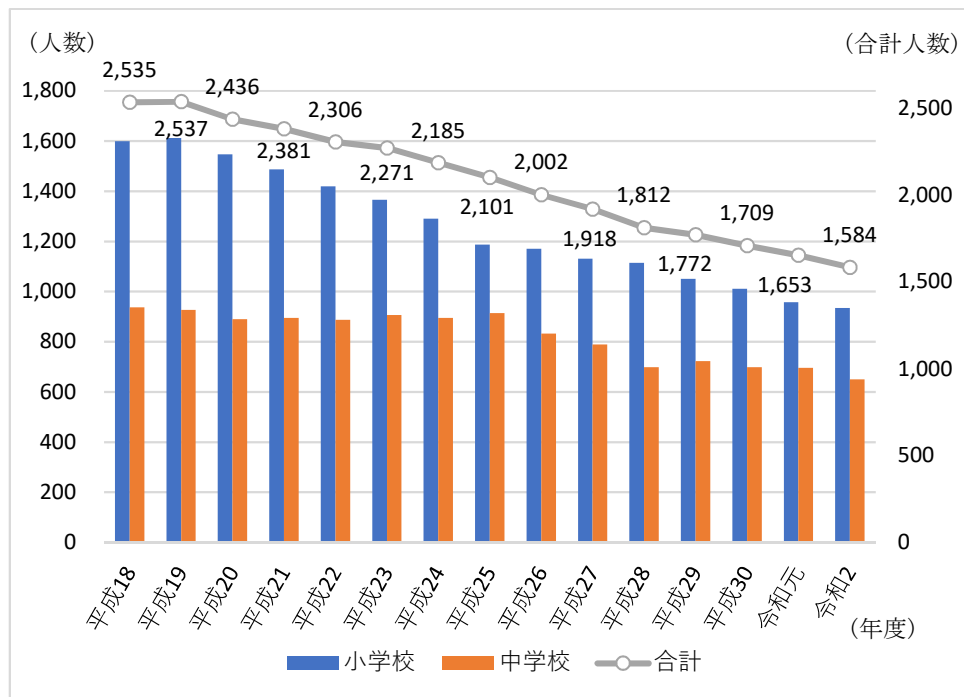
※令和 2(2020)年度に桑飼小学校・与謝小学校は加悦小学校に再編統合。

図表 6：全地域の児童生徒数の推移

(単位：人)

(年度) (学校名)	平成 18 (2006)	平成 19 (2007)	平成 20 (2008)	平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)
小学校	1,599	1,611	1,547	1,487	1,419	1,365	1,290	1,187
中学校	936	926	889	894	887	906	895	914
合計	2,535	2,537	2,436	2,381	2,306	2,271	2,185	2,101

(年度) (学校名)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	14 年間の 増減率
小学校	1,170	1,130	1,114	1,050	1,011	957	934	-41.6%
中学校	832	788	698	722	698	696	650	-30.6%
合計	2,002	1,918	1,812	1,772	1,709	1,653	1,584	-37.5%



3) 学級数の推移

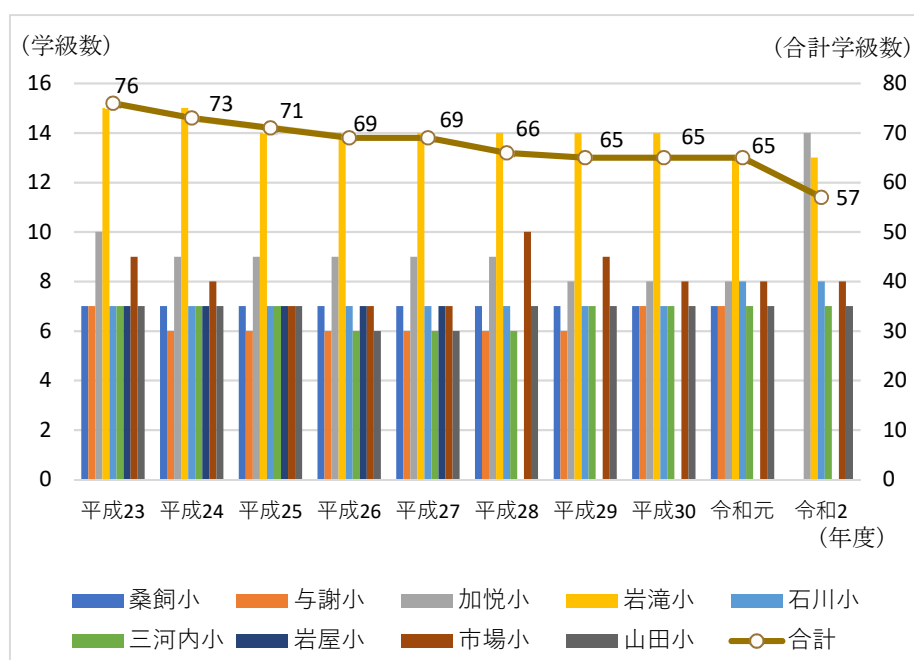
小学校の令和 2(2020)年度の学級数は 57 学級で、平成 23(2011)年度の 76 学級に対し 19 学級(25%)減少しています。

中学校の令和 2(2020)年度の学級数は 31 学級で、平成 28(2016)年度・平成 29(2017)年度に 28 学級と一時的に減少していますが、ここ 10 年はほぼ横ばいとなっています。

図表 7：小学校学級数の推移

(単位:学級)

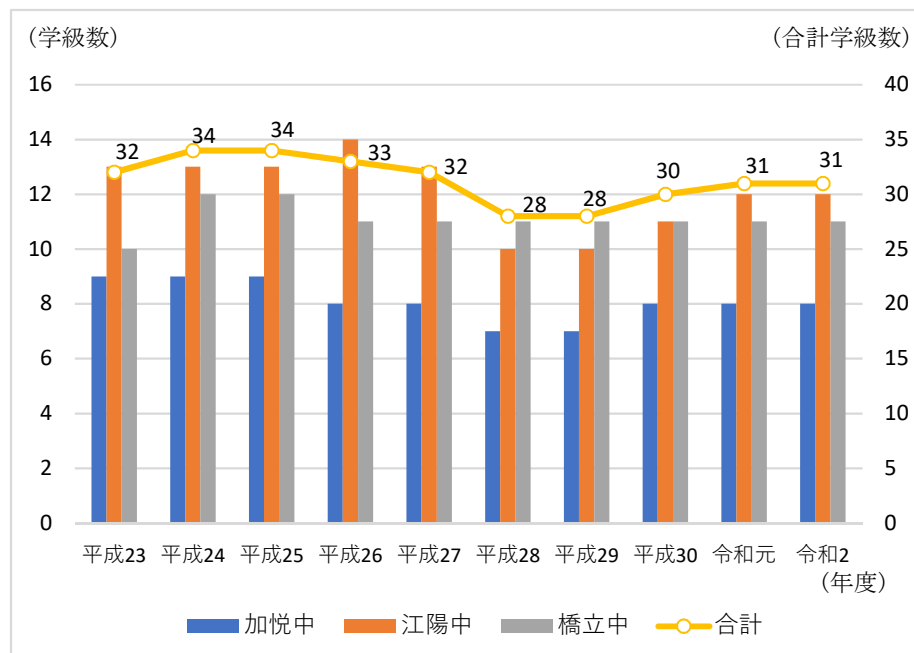
(年度) (学校名)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)
桑飼小	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0
与謝小	7	6	6	6	6	6	6	7	7	0
加悦小	10	9	9	9	9	9	8	8	8	14
岩滝小	15	15	14	14	14	14	14	14	13	13
石川小	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8
三河内小	7	7	7	6	6	6	7	7	7	7
岩屋小	7	7	7	7	7	0	0	0	0	0
市場小	9	8	7	7	7	10	9	8	8	8
山田小	7	7	7	6	6	7	7	7	7	7
合計	76	73	71	69	69	66	65	65	65	57



図表 8：中学校学級数の推移

(単位:学級)

(年度) (学校名)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)
加悦中	9	9	9	8	8	7	7	8	8	8
江陽中	13	13	13	14	13	10	10	11	12	12
橋立中	10	12	12	11	11	11	11	11	11	11
合計	32	34	34	33	32	28	28	30	31	31



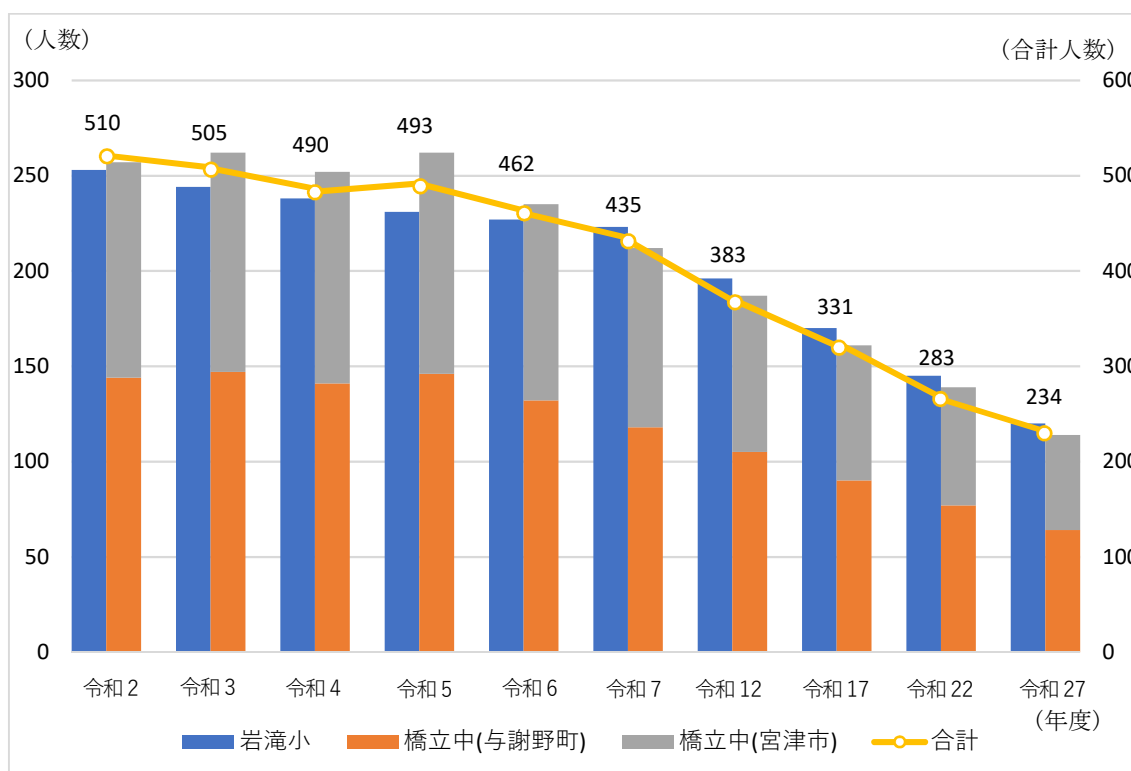
4) 学区別年少人口の予測

再編に係る人数推計より、児童生徒数は令和 2(2020)年度に対し、5 年後の令和 7(2025)年度には岩滝地域 15%、野田川地域 11%、加悦地域 17%減少することが予測されます。

さらに、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計の結果を基にした 2030 年度以降の推計結果では、児童生徒数は令和 2(2020)年度に対し、25 年後の令和 27(2045)年度には岩滝地域 54%、野田川地域 55%、加悦地域 59%減少することが予測されます。

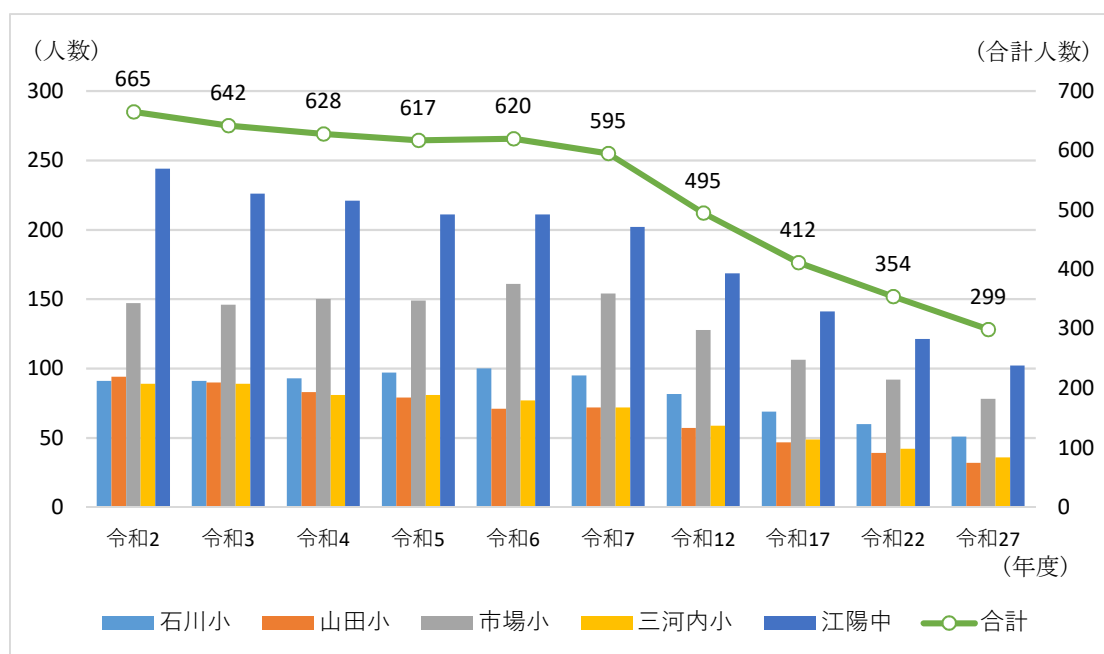
図表 9：児童生徒数の推計（岩滝地域）

(年度) (学校名)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)
岩滝小	253	244	238	231	227	223	196	170	145	120
橋立中	257	261	252	262	235	212	187	161	138	114
与謝野町	144	146	141	146	131	118	105	90	77	64
宮津市	113	115	111	116	104	94	82	71	61	50
合計	510	505	490	493	462	435	383	331	283	234
増減率	(基準年)	-1%	-4%	-3%	-9%	-15%	-25%	-35%	-45%	-54%



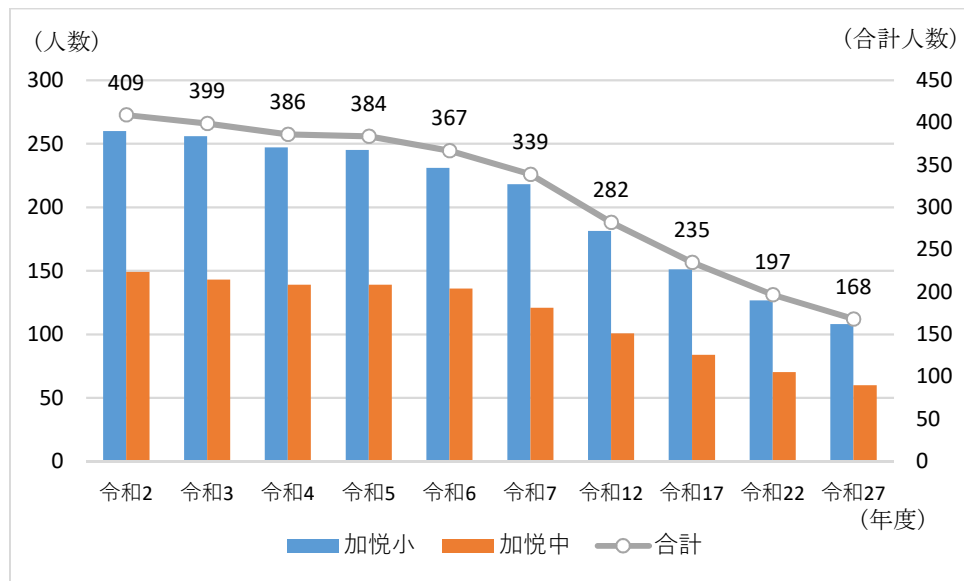
図表 10：児童生徒数の推計（野田川地域）

(年度) (学校名)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)
石川小	91	91	93	97	100	95	82	69	60	51
山田小	94	90	83	79	71	72	57	47	39	32
市場小	147	146	150	149	161	154	128	106	92	78
三河内小	89	89	81	81	77	72	59	49	42	36
江陽中	244	226	221	211	211	202	169	141	121	102
合計	665	642	628	617	620	595	495	412	354	299
増減率	(基準年)	-3%	-6%	-7%	-7%	-11%	-26%	-38%	-47%	-55%



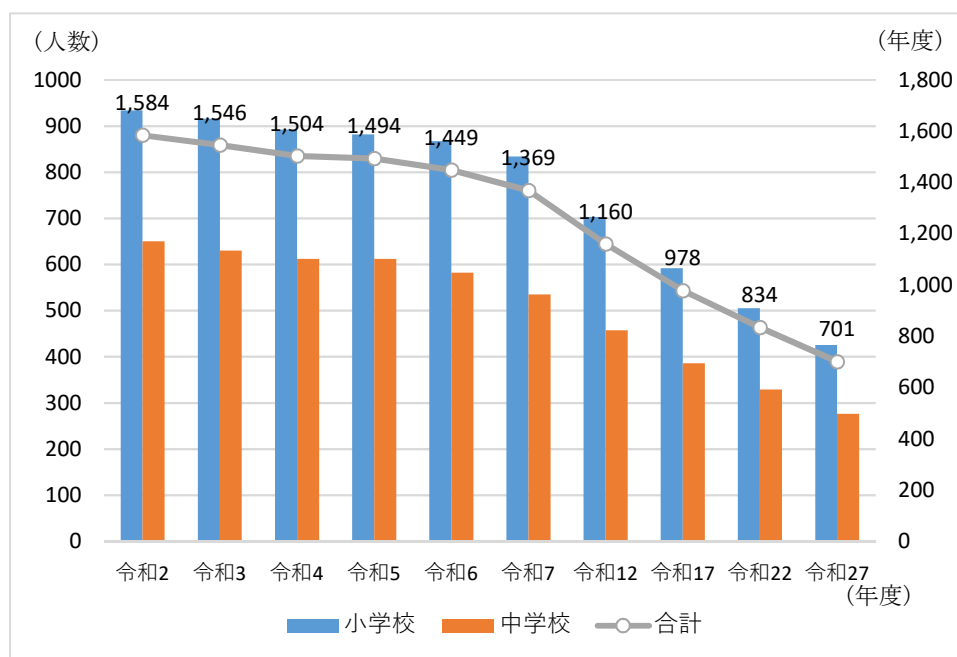
図表 11：児童生徒数の推計(加悦地域)

(年度) (学校名)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)
加悦小	260	256	247	245	231	218	181	151	127	108
加悦中	149	143	139	139	136	121	101	84	70	60
合計	409	399	386	384	367	339	282	235	197	168
増減率	(基準年)	-2%	-6%	-6%	-10%	-17%	-31%	-43%	-52%	-59%



図表 12：全域の児童生徒数の推計

(年度) (区分)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)
小学校	934	916	892	882	867	834	703	592	505	425
中学校	650	630	612	612	582	535	457	386	329	276
合計	1,584	1,546	1,504	1,494	1,449	1,369	1,160	978	834	701
増減率	(基準年)	-2%	-5%	-6%	-9%	-14%	-27%	-38%	-47%	-56%



③ 学校施設の配置状況

町内には小学校 6 校、中学校 3 校配置されています。

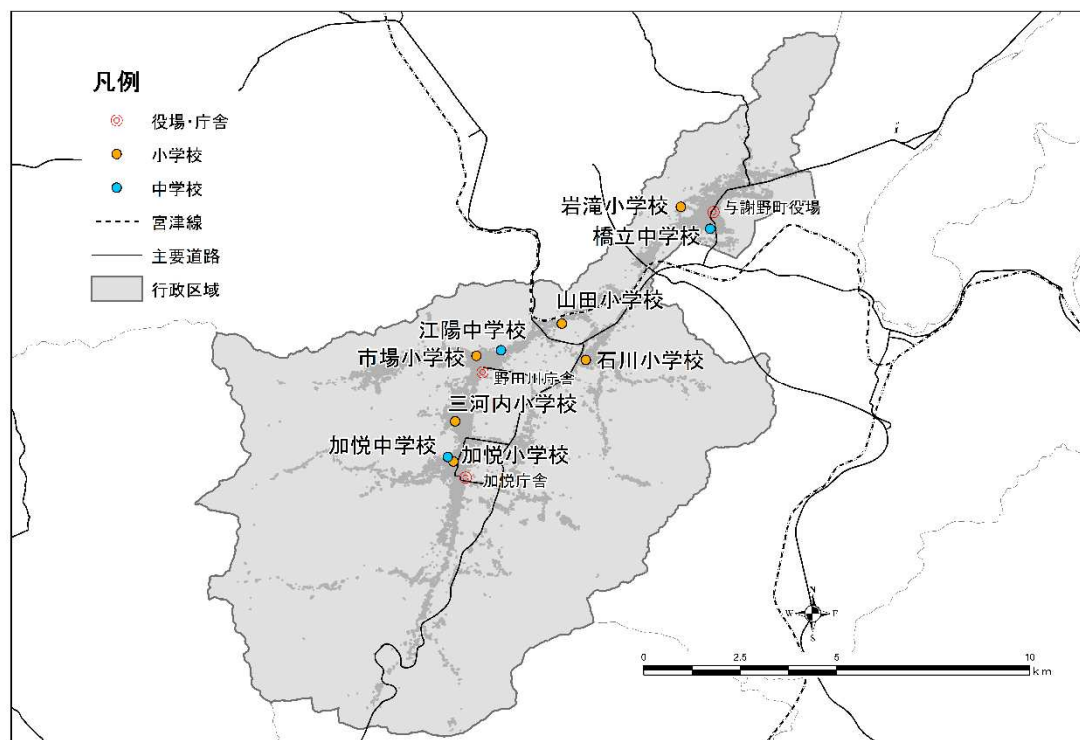


図 2：小学校・中学校の配置

④ 教育環境の把握

学校施設等の各種設備状況は以下のとおりです。

1) バリアフリー整備状況

多目的トイレは5校(56%)整備されています。エレベーターは加悦中学校にのみ整備されています。今後も必要に応じて整備する必要があります。

表 4：整備状況(小学校)

学校名	多目的トイレ	エレベーター
加悦小学校	○	×
岩滝小学校	○	×
石川小学校	×	×
三河内小学校	×	×
市場小学校	×	×
山田小学校	×	×

表 5：整備状況(中学校)

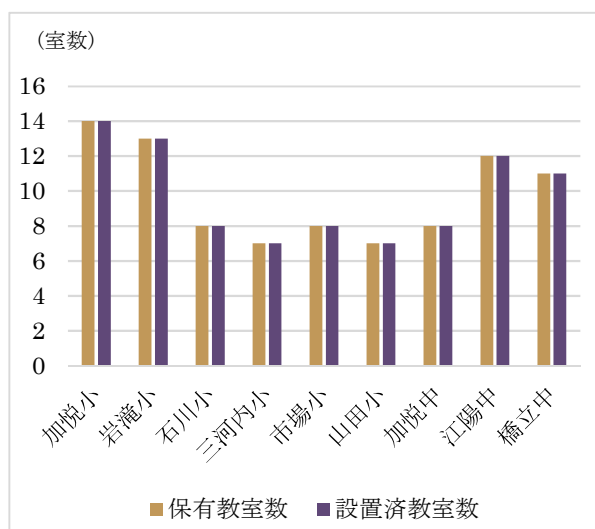
学校名	多目的トイレ	エレベーター
加悦中学校	○	○
江陽中学校	○	×
橋立中学校	○	×

2) 空調設備の設置状況

普通教室への空調設備の設置はすべて終了しています。山田小学校の特別教室の一部や屋内運動場において空調設備は未設置です。

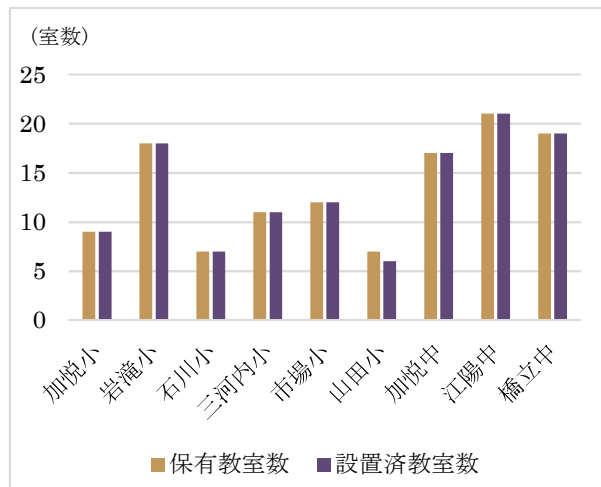
図表 13：普通教室の設置状況

学校名	保有 教室数	設置済 教室数	設置率
加悦小	14	14	100%
岩滝小	13	13	100%
石川小	8	8	100%
三河内小	7	7	100%
市場小	8	8	100%
山田小	7	7	100%
加悦中	8	8	100%
江陽中	12	12	100%
橋立中	11	11	100%



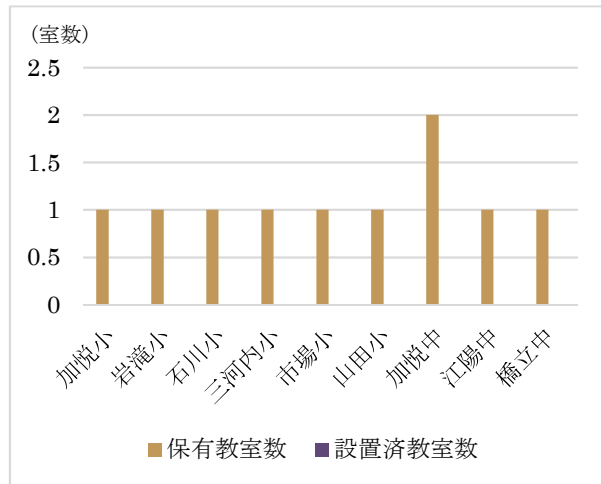
図表 14：特別教室の設置状況

学校名	保有 教室数	設置済 教室数	設置率
加悦小	9	9	100%
岩滝小	18	18	100%
石川小	7	7	100%
三河内小	11	11	100%
市場小	12	12	100%
山田小	7	6	86%
加悦中	17	17	100%
江陽中	21	21	100%
橋立中	19	19	100%



図表 15：屋内運動場の設置状況

学校名	保有 教室数	設置済 教室数	設置率
加悦小	1	0	0
岩滝小	1	0	0
石川小	1	0	0
三河内小	1	0	0
市場小	1	0	0
山田小	1	0	0
加悦中	2	0	0
江陽中	1	0	0
橋立中	1	0	0



3) LED 照明の整備状況

加悦中学校の屋内運動場及び校舎の一部照明に LED 照明を整備済みです。

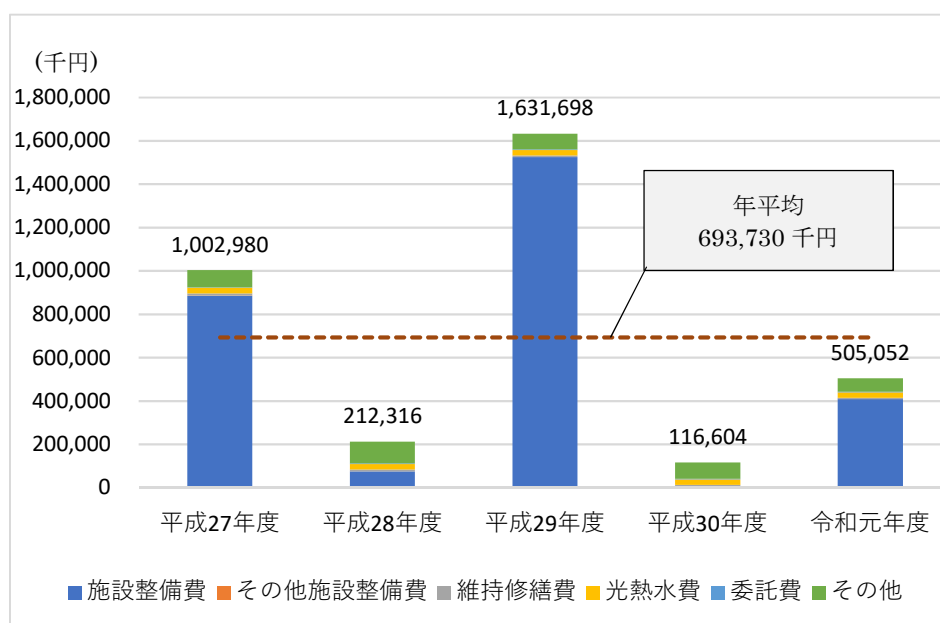
⑤ 施設の関連経費の推移

過去5年の学校施設の関連経費は以下のとおりです。

与謝野町立小中学校の施設関連経費は年平均で約 6.9 億円、橋立中学校施設の関連経費は約 0.5 億円となっています。

この期間で加悦中学校の改築工事や全小中学校の空調設備の整備が行われたため、全体では年平均の支出額が約 7.4 億円となっています。

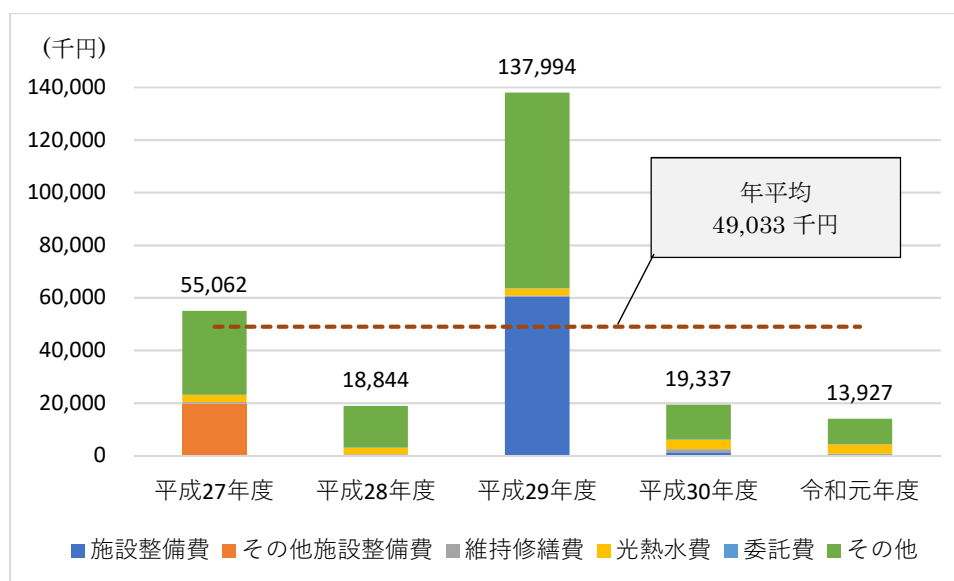
図表 16：与謝野町立小中学校施設関連経費



(単位：千円)

(年度) (費用)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)
施設整備費	884,092	74,791	1,524,249	105	408,439
その他施設整備費	693	0	0	0	196
維持修繕費	10,568	9,960	7,082	12,878	6,222
光熱水費	26,472	25,195	25,979	26,099	24,973
委託費	1,797	1,943	2,003	2,047	2,181
その他	79,358	100,426	72,385	75,475	63,041
合計	1,002,980	212,316	1,631,698	116,604	505,052

図表 17：橋立中学校施設関連経費



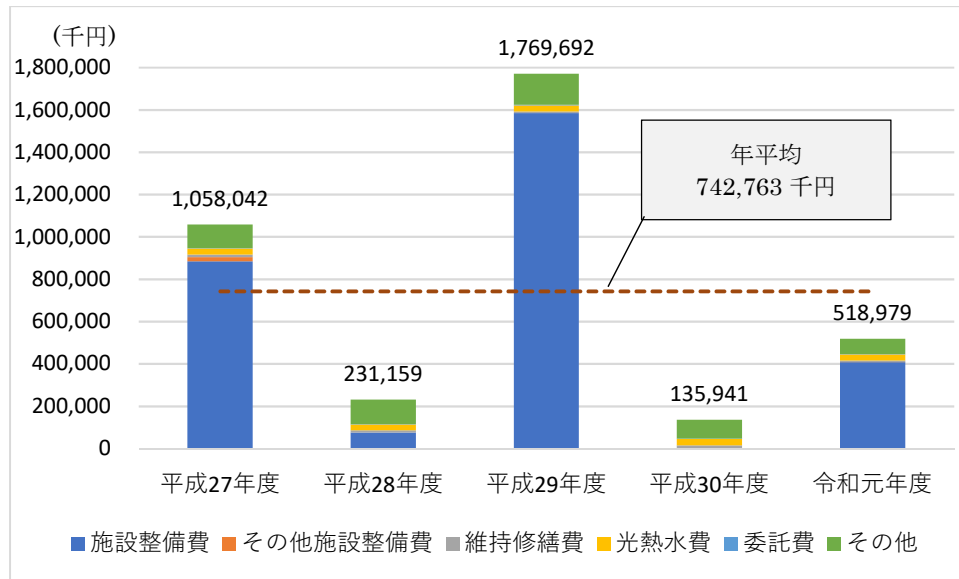
(単位：千円)

(費用) \ (年度)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)
施設整備費	0	0	60,452	1,220	0
その他施設整備費	19,728	0	0	0	0
維持修繕費	533	430	438	1,244	657
光熱水費	2,682	2,458	2,652	3,444	3,528
委託費	111	110	126	174	218
その他	32,008	15,846	74,326	13,255	9,524
合計	55,062	18,844	137,994	19,337	13,927

(単位：千円)

(費用) \ (年度)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)
与謝野町負担	30,835	10,553	77,277	10,829	7,799
宮津市負担	24,227	8,291	60,717	8,508	6,128
合計	55,062	18,844	137,994	19,337	13,927

図表 18：施設関連経費（全体）



（単位：千円）

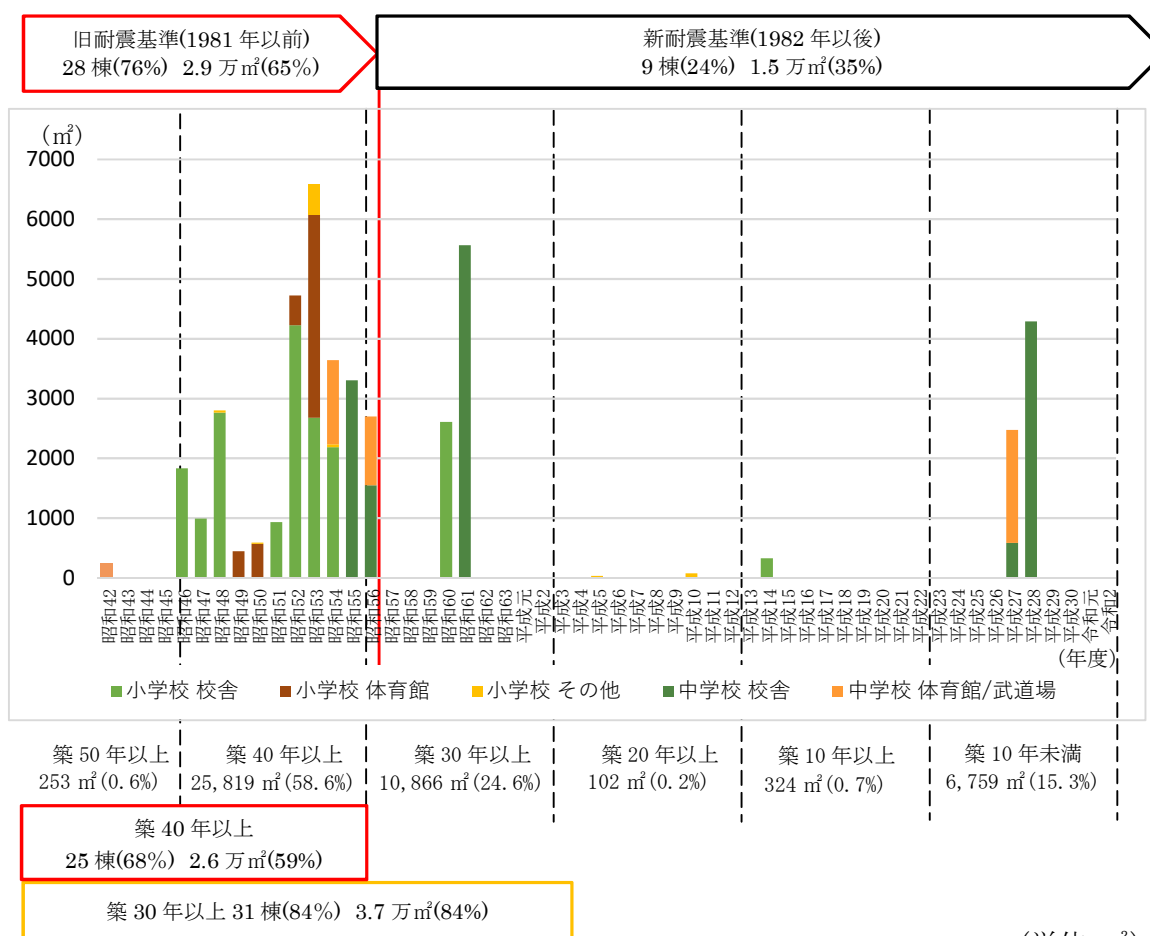
（年度） （費用）	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)
施設整備費	884,092	74,791	1,584,701	1,326	408,439
その他施設整備費	20,421	0	0	0	196
維持修繕費	11,101	10,390	7,520	14,122	6,879
光熱水費	29,154	27,653	28,631	29,543	28,501
委託費	1,908	2,053	2,129	2,221	2,399
その他	111,366	116,272	146,711	88,730	72,565
合計	1,058,042	231,159	1,769,692	135,941	518,979

⑥ 学校施設の保有状況（長寿命化対象施設）

築30年以上の建物が37棟中、31棟(84%)を占め、さらに築40年以上の建物が25棟(68%)を占めています。

その中でも築40年以上50年未満の建物が最も多く延べ床面積の58.6%となっており、大規模改修・長寿命化改修を計画的に実施していくことにより建物の延命化を図る必要があります。

図表19：学校施設の保有状況（長寿命化対象施設）



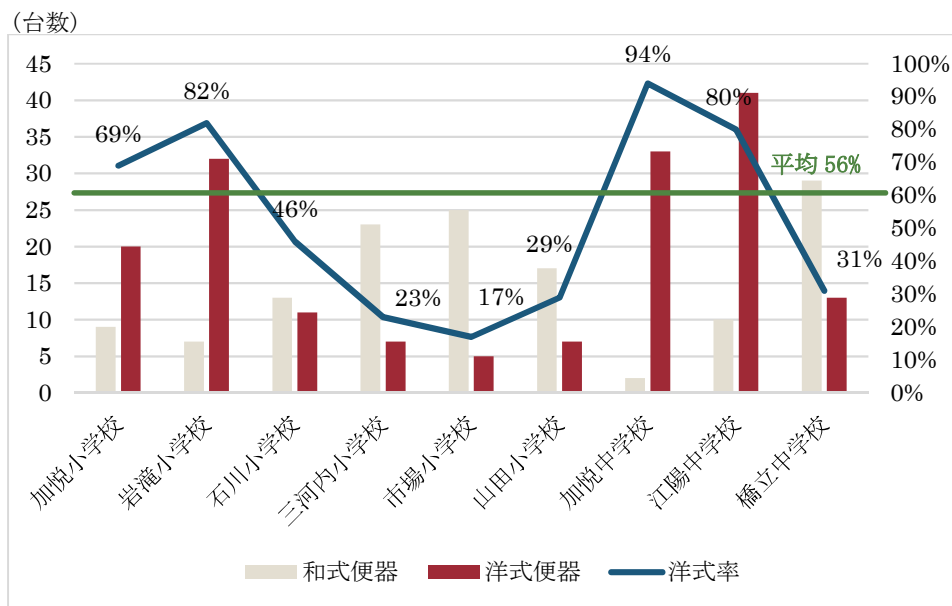
(単位: ㎡)

		築50年以上	築40～49年	築30～39年	築20～29年	築10～19年	10年未満	合計
小学校	校舎	0	15,598	2,608	0	324	0	18,530
	体育館	0	4,901	0	0	0	0	4,901
	その他	11	615	0	102	0	0	728
中学校	校舎	0	3,294	7,110	0	0	4,871	15,275
	体育館/武道場	242	1,411	1,148	0	0	1,888	4,689
合計		253	25,819	10,866	102	324	6,759	44,123

⑦ 学校施設のトイレの状況

「公立学校施設のトイレの状況について（令和２年９月３０日文科科学省発表）」によると、公立小中学校におけるトイレの全便器数約 136 万個のうち、洋式便器は約 77 万個、洋式便器率 57%となっています。本町では市場小学校 17%が最も低く、加悦中学校の 94%が最も高い値となっています。平均値は 56%と全国平均 57%よりも低い整備率となっています。今後も必要に応じて、整備を推進していきます。

図表 20：学校施設のトイレ状況



トイレ整備状況（小学校）

学校名	和式便器	洋式便器	合計	洋式便器率
加悦小学校	9	20	29	69%
岩滝小学校	7	32	39	82%
石川小学校	13	11	24	46%
三河内小学校	23	7	30	23%
市場小学校	25	5	30	17%
山田小学校	17	7	24	29%
合計	94	82	176	47%

トイレ整備状況（中学校）

学校名	和式便器	洋式便器	合計	洋式便器率
加悦中学校	2	33	35	94%
江陽中学校	10	41	51	80%
橋立中学校	29	13	42	31%
合計	41	87	128	68%

⑧ 学校施設の活用状況

学校施設の地域への開放状況は以下の通りです。

表 6：学校施設等開放状況

学校名	主な利用目的	グラウンド	屋内運動場
加悦小学校	ソフトボール バレーボール サッカーボール	68 回	261 回
加悦中学校	バスケットボール 陸上競技 武道・・・等		3 回
岩滝小学校	ソフトバレーボール フットサル サッカーボール 陸上競技・・・等	17 回	272 回
石川小学校	ソフトボール バスケットボール バレーボール 野球 陸上競技 消防訓練・・・等	80 回	368 回
三河内小学校	ソフトバレーボール 野球 陸上競技 体操競技 消防訓練・・・等	114 回	205 回
市場小学校	バレーボール ソフトバレーボール フットサル バスケットボール 陸上競技 消防訓練・・・等	112 回	351 回
山田小学校	ソフトバレーボール バレーボール バトミントン 陸上競技 消防訓練・・・等	83 回	244 回
江陽中学校	バレーボール フットサル・・・等	0 回	129 回
橋立中学校	バスケットボール ソフトバレーボール ・・・等	0 回	79 回

※加悦小学校と加悦中学校のグラウンドは同じ敷地となっています。

⑨ 今後の維持・更新コストシミュレーション（事後保全型）

建物の損傷が激しくなった後に改修等を実施する「事後保全型」の維持管理手法を続けると仮定した場合、今後の維持・更新コストは今後40年間の与謝野町立小中学校の総額としては226.30億円、橋立中学校は47.71億円必要となります。全体の総額として274.01億円必要となります。

また、最初の10年間では改築や大規模改修が集中するため、130.5億円の維持管理コストがかかります。

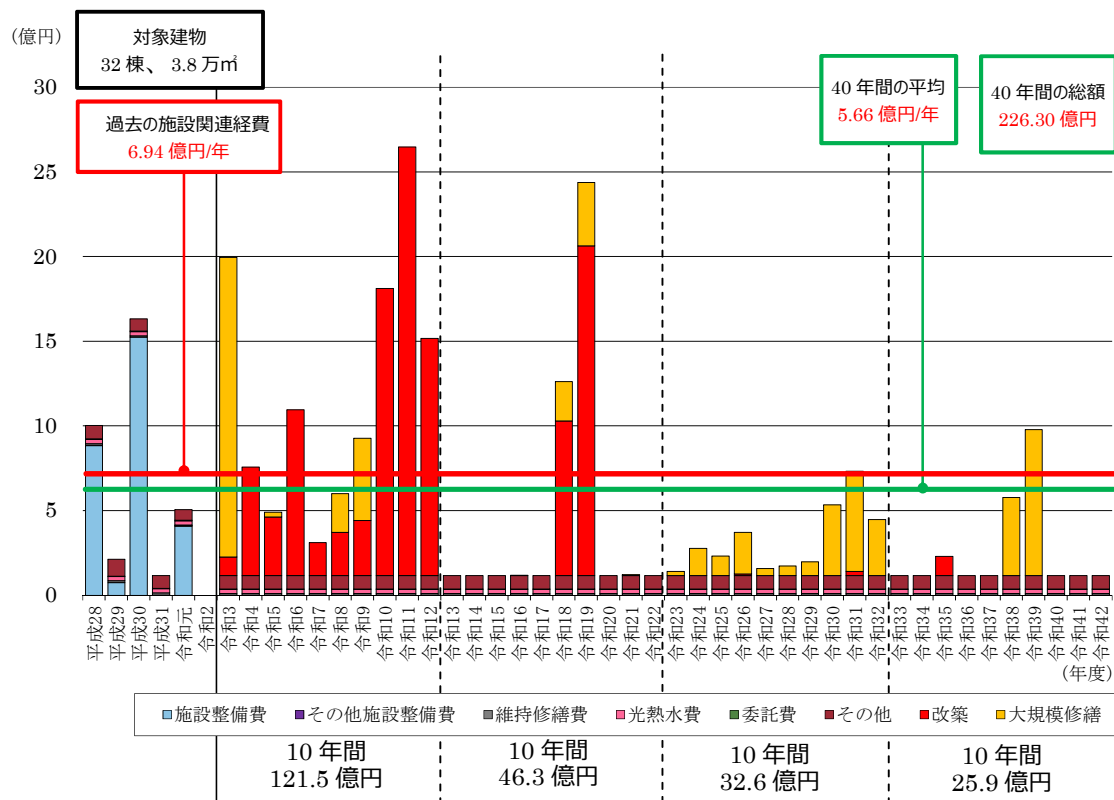
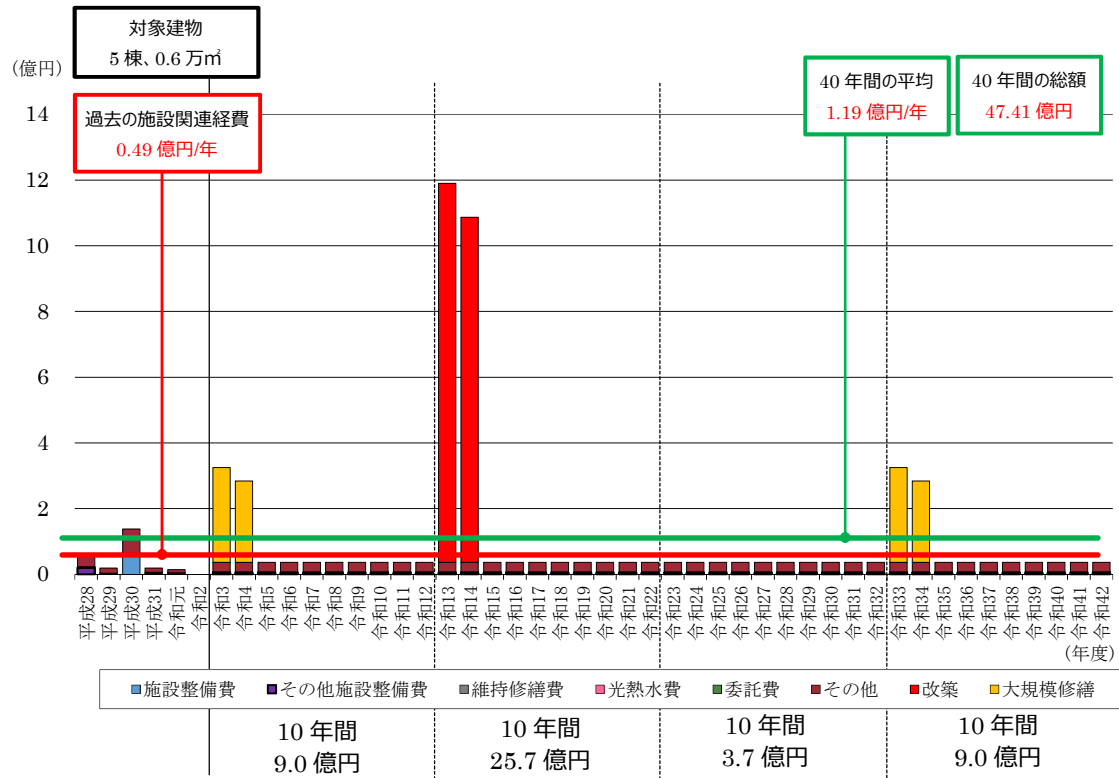


図3：今後の維持・更新コストシミュレーション
与謝野立小中学校（事後保全型）

図表 21：今後の維持・更新コストシミュレーション

橋立中学校（事後保全型）



	2021～2030年度	2031～2040年度	2041～2050年度	2051～2060年度
与謝野町負担	5.0 億円	14.4 億円	2.1 億円	5.0 億円
宮津市負担	4.0 億円	11.3 億円	1.6 億円	4.0 億円

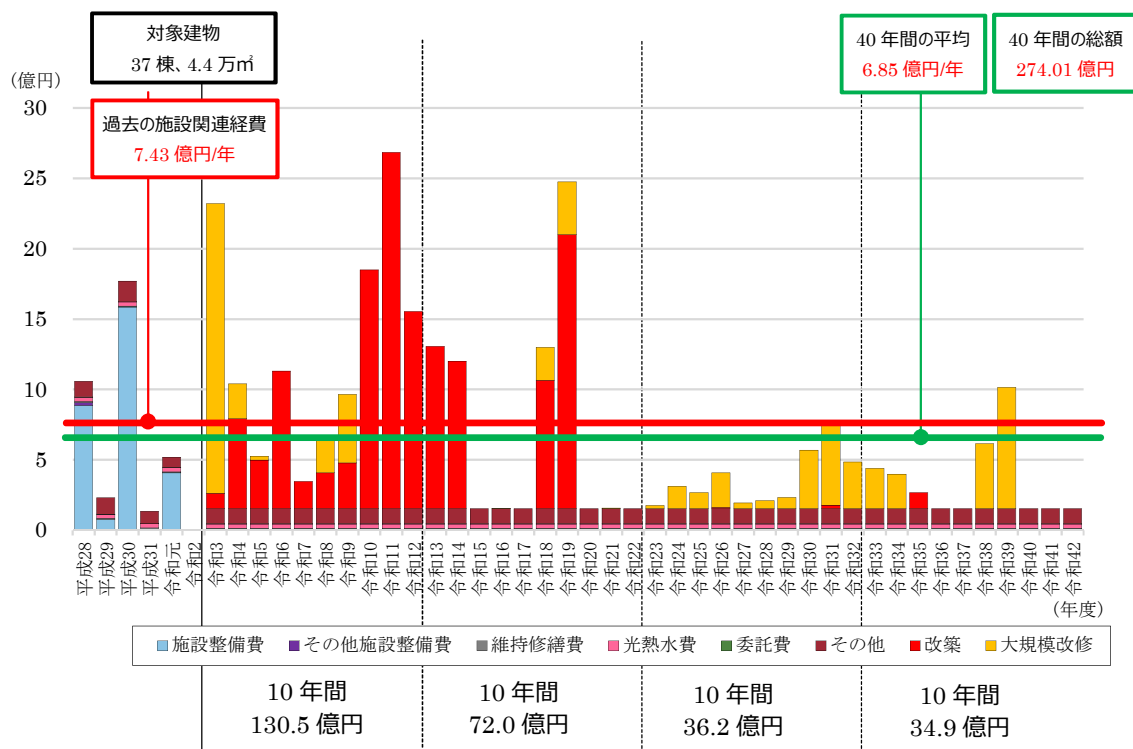


図 4：今後の維持・更新コストシミュレーション
全体（事後保全型）

(2) 学校施設の老朽化状況の実態

① 構造躯体の健全性の評価及び躯体以外の劣化状況等の評価

1) 構造躯体の評価

1)-1 躯体以外の劣化状況の評価方法

構造躯体以外の劣化状況等の調査として、目視調査及び建設年や改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価し、それを下記の健全度の算定により100点満点で数値化し、健全度を評価します。

●劣化状況の評価基準

部位	評価方法	評価	評価基準
屋根・屋上 外壁	現地調査 (目視及び打 診調査)など	A	概ね良好
		B	部分的に劣化(安全上・機能上、問題なし)
		C	[屋根・屋上] 全体に防水層の亀裂・破損、小規模な雨漏り [外壁] 全体的に亀裂、浮き、剥がれ、小規模な漏水あり
		D	[屋根・屋上] 防水シートの大きなはがれ、深刻な雨漏り、多数の雨漏り跡など [外壁] 全体に亀裂、浮き、剥がれ、深刻な漏水あり
内部仕上 電気設備 機械設備	建設年や改修 年からの の経過年数 など	A	概ね20年未満
		B	概ね20年未満
		C	概ね40年以上
		D	経過年数に関わらず著しい劣化がある場合

●健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。a. 部位の評価点とb. 部位のコスト配分を下表のように定め、c. 健全度を100点満点で算定します。

a. 部位の評価

判定	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

b. 部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋上・屋根	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

c. 健全度の算出方法

$$\text{健全度} = \text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

部位	評価	評価点		コスト配分	
屋根・屋上	C	40	×	5.1	= 204
外壁	D	10	×	17.2	= 172
内部仕上	B	75	×	22.4	= 1,680
電気設備	A	100	×	8	= 800
機械設備	C	40	×	7.3	= 292
					計 3,148
					÷ 60
					健全度 52

※学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(平成29年3月 文部科学省)

1)-2 構造躯体の健全性の評価及び躯体以外の劣化状況等の評価結果

●各棟の健全性及び劣化状況

表 7：劣化状況表

建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	施設名	建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)	
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上の区 分							
1	加悦小学校	校舎1	RC	2	930	1976	S51	44	旧	済	済	H15	33.2	長寿命	C	D	C	C	C	31	
2	加悦小学校	校舎2	RC	2	2,608	1985	S60	35	新	-	-			長寿命	B	B	C	B	B	62	
3	加悦小学校	体育館	RC	2	905	1978	S53	42	旧	済	済	H17	19.2	長寿命	B	B	C	C	C	53	
4	加悦小学校	プール施設	CB	1	11	1970	S45	50	旧	-	-			長寿命	C	C	C	C	B	44	
5	岩滝小学校	校舎1	RC	2	1,980	1977	S52	43	旧	済	済	H16	30.5	長寿命	C	C	C	C	C	40	
6	岩滝小学校	校舎2	RC	2	1,300	1978	S53	42	旧	済	済	H16	20.6	長寿命	B	C	C	C	C	43	
7	岩滝小学校	校舎3	RC	1	992	1978	S53	42	旧	済	済	H18	25	長寿命	C	C	C	C	C	40	
8	岩滝小学校	校舎4	RC	1	386	1978	S53	42	旧	済	済	H18	24.2	長寿命	B	C	C	C	C	43	
9	岩滝小学校	校舎5(給食棟)	RC	1	501	1978	S53	42	旧	済	済	H18	27.8	長寿命	B	C	C	C	C	43	
10	岩滝小学校	体育館	S	2	1,269	1978	S53	42	旧	済	済	H15	24.4	長寿命	B	B	C	C	C	53	
11	岩滝小学校	プール施設	CB	1	47	1979	S54	41	旧	-	-			長寿命	C	B	C	C	C	50	
12	石川小学校	校舎	RC	3	2,185	1979	S54	41	旧	済	済	H17	26.5	長寿命	D	B	C	C	C	48	
13	石川小学校	体育館	RC	1	442	1974	S49	46	旧	済	済	H17	15.3	長寿命	B	B	C	C	C	53	
14	石川小学校	プール施設	W	1	29	1993	H5	27	新	-	-			長寿命	C	C	B	B	B	62	
15	三河内小学校	校舎	RC	3	2,761	1973	S48	47	旧	済	済	H15	19.7	長寿命	D	B	C	C	C	48	
16	三河内小学校	体育館	RC	1	567	1975	S50	45	旧	済	済	H17	20.3	長寿命	C	C	C	C	C	40	
17	三河内小学校	プール施設	RC	1	73	1998	H10	22	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
18	市場小学校	校舎1	RC	3	1,831	1971	S46	49	旧	済	済	H15	20.5	長寿命	C	B	C	C	C	50	
19	市場小学校	校舎2	RC	2	989	1972	S47	48	旧	済	済	H15	17	長寿命	D	C	C	C	C	37	
20	市場小学校	校舎4	S	2	324	2002	H14	18	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91	
21	市場小学校	体育館	RC	1	1,221	1978	S53	42	旧	済	済	H17	22.6	長寿命	C	B	C	C	C	50	
22	市場小学校	プール施設	S	1	20	1975	S50	45	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43	
23	山田小学校	校舎	RC	3	2,244	1977	S52	43	旧	済	済	H17	22.5	長寿命	D	B	C	C	C	47	
24	山田小学校	体育館	RC	1	497	1977	S52	43	旧	済	済	H17	24.9	長寿命	C	C	C	C	C	40	
25	山田小学校	プール施設	CB	1	38	1973	S48	47	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43	
26	加悦中学校	校舎1	RC	2	585	2015	H27	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
27	加悦中学校	校舎2	RC	3	4,286	2016	H28	4	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
28	加悦中学校	体育館	RC	2	1,888	2015	H27	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
29	江陽中学校	校舎1	RC	2	2,158	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
30	江陽中学校	校舎2	RC	3	3,404	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
31	江陽中学校	体育館	RC	1	1,411	1979	S54	41	旧	済	済	H17	27.3	長寿命	B	C	C	C	C	43	
32	江陽中学校	武道場	S	1	242	1967	S42	53	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43	
33	橋立中学校	校舎1	RC	3	3,294	1980	S55	40	旧	済	済	H18	31.5	長寿命	D	B	C	C	C	47	
34	橋立中学校	校舎2	RC	3	558	1981	S56	39	旧	済	済	H18	33.5	長寿命	B	B	B	B	B	75	
35	橋立中学校	校舎3	RC	3	990	1981	S56	39	旧	済	済	H18	28.4	長寿命	B	B	B	B	B	75	
36	橋立中学校	体育館	RC	1	1,148	1981	S56	39	旧	済	済	H18	27.9	長寿命	D	B	B	B	B	69	
37	橋立中学校	プール施設	CB	1	9	1980	S55	40	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43	

※築年数の基準年は、令和 2(2020)年

: 築 40 年以上	: 築 25 年以上
A : 概ね良好	C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化	D : 早急に対応する必要がある

● 築年別劣化状況

築年数別の劣化状況は、築 40 年～50 年について、C・D 評価の棟が屋根・屋上で 13 棟、外壁で 13 棟と目立っており改修が必要な状況となっています。内部仕上、電気設備、機械設備についても築 40 年～50 年で 23 棟が C 評価となっており、改修が必要な状況となっています。

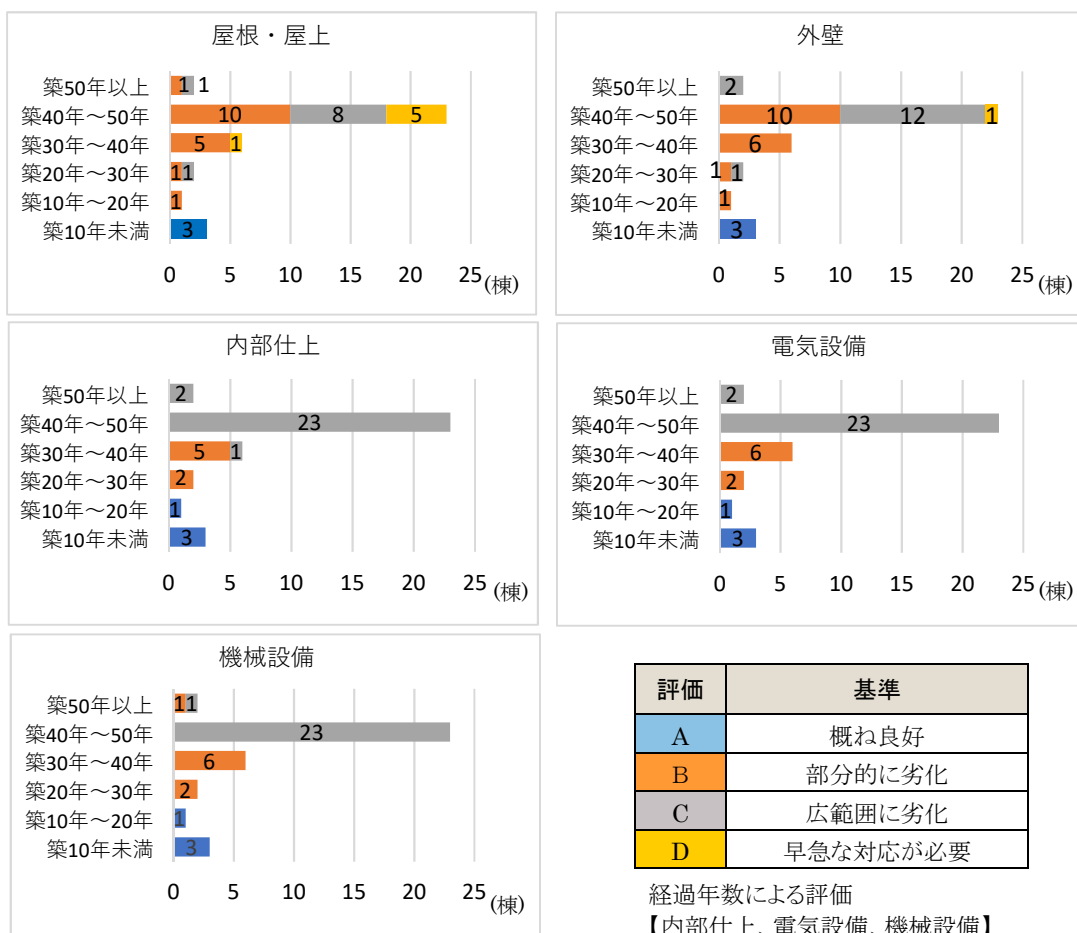


図 5：築年別劣化状況



●建設年度別健全度評価

築年数の経過とともに健全度が低くなる傾向にあります。優先的に改修工事等の対策を行う必要がある健全度が40点以下の建物は6棟あり全て築年数が40年以上の建物です。今後、計画的な改修を実施するために、定期点検等により建物の状態を把握することが重要です。

表8：建築年度別健全度の分布

施設名	建物名	建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	西暦	和暦	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
加悦小学校	校舎1	校舎	RC	2	930	1976	S51	C	D	C	C	C	31
市場小学校	校舎2	校舎	RC	2	989	1972	S47	D	C	C	C	C	37
岩滝小学校	校舎1	校舎	RC	2	1,980	1977	S52	C	C	C	C	C	40
岩滝小学校	校舎3	校舎	RC	1	992	1978	S53	C	C	C	C	C	40
三河内小学校	体育館	体育館	RC	1	567	1975	S50	C	C	C	C	C	40
山田小学校	体育館	体育館	RC	1	497	1977	S52	C	C	C	C	C	40

(評価点)

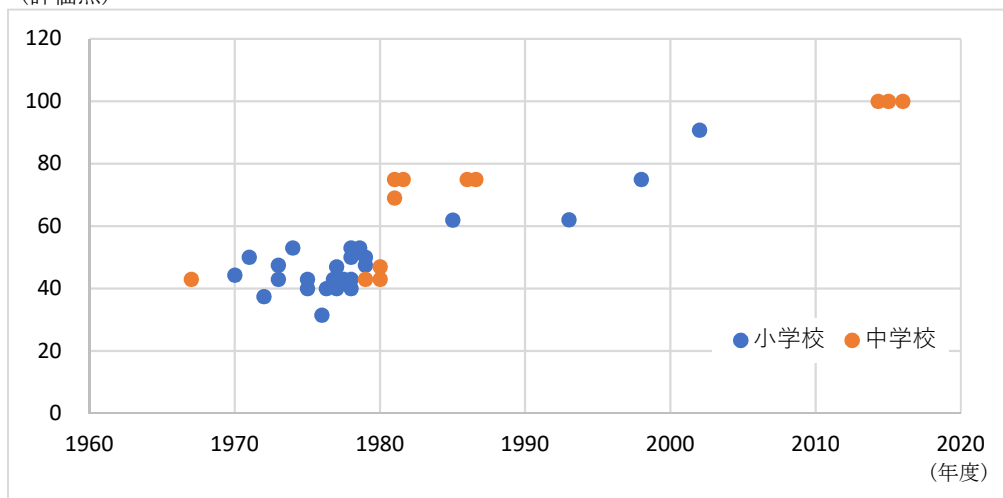


図6：建築年度別健全度の分布



加悦小学校(校舎) 外壁:塗装の剥がれ



市場小学校(校舎) 外壁:ひび割れ

②今後の維持・更新コストシミュレーション（予防保全型）

総合管理計画（実施計画）を踏まえ、機能を継続する施設に対して建築後25年で大規模改修、50年で長寿命化改修、80年で更新を実施する長寿命化型の管理を行う場合、今後の維持・更新コストは以下のとおりとなります。

「事後保全型」から「予防保全型（長寿命化型）」にシフトすることで、今後40年間の維持・更新コストは与謝野町立小中学校の総額は213.18億円、年平均5.33億円、橋立中学校の総額は30.36億円、年平均0.76億円となります。

全体の総額で243.54億円、年平均が6.09億円となり、事後保全型に比べて年平均0.76億円の縮減効果が得られる結果となりました。

従って、改築中心の「事後保全型」から「予防保全型（長寿命化型）」に切り替えて、計画的に原状回復と機能向上を図る改修を建物全体で実施し、維持・更新コストの縮減を図る必要があります。

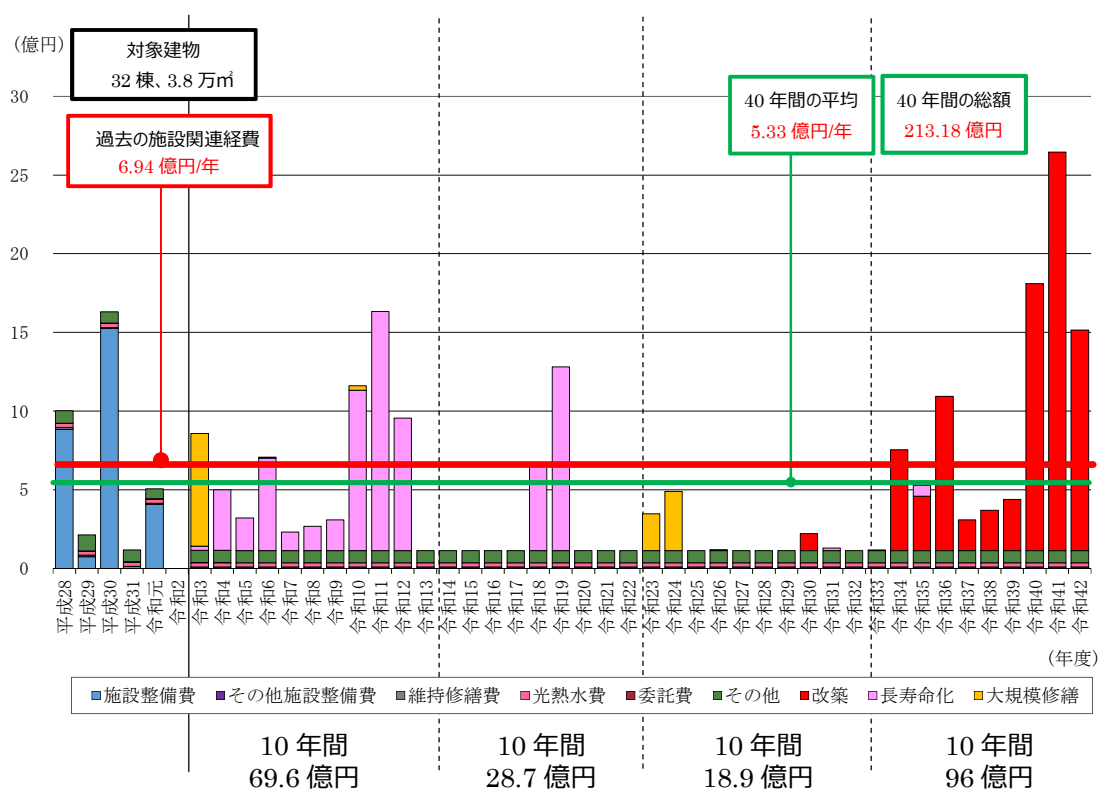
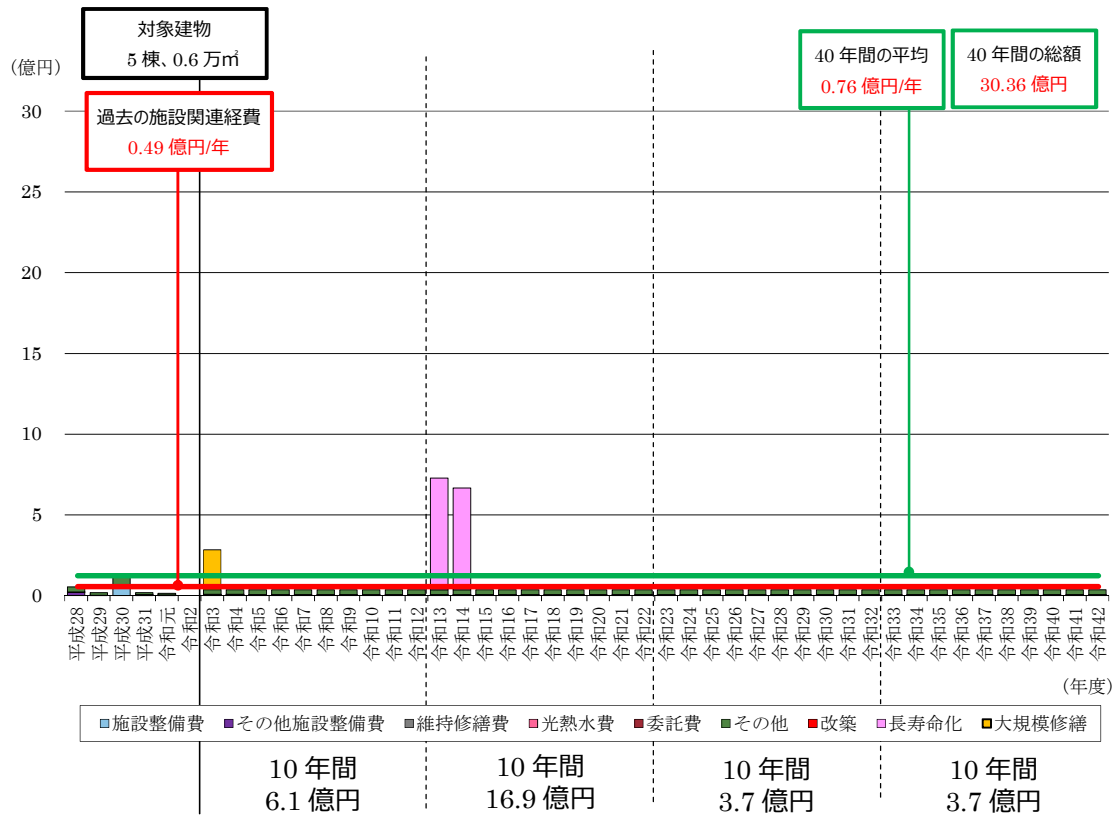


図7：今後の維持・更新コストシミュレーション
与謝野町立小中学校（予防保全型（長寿命化型））

図表 22：今後の維持・更新コストシミュレーション

橋立中学校(予防保全型 (長寿命化型))



	2021～2030年度	2031～2040年度	2041～2050年度	2051～2060年度
与謝野町負担	3.4億円	9.5億円	2.1億円	2.1億円
宮津市負担	2.7億円	7.4億円	1.6億円	1.6億円

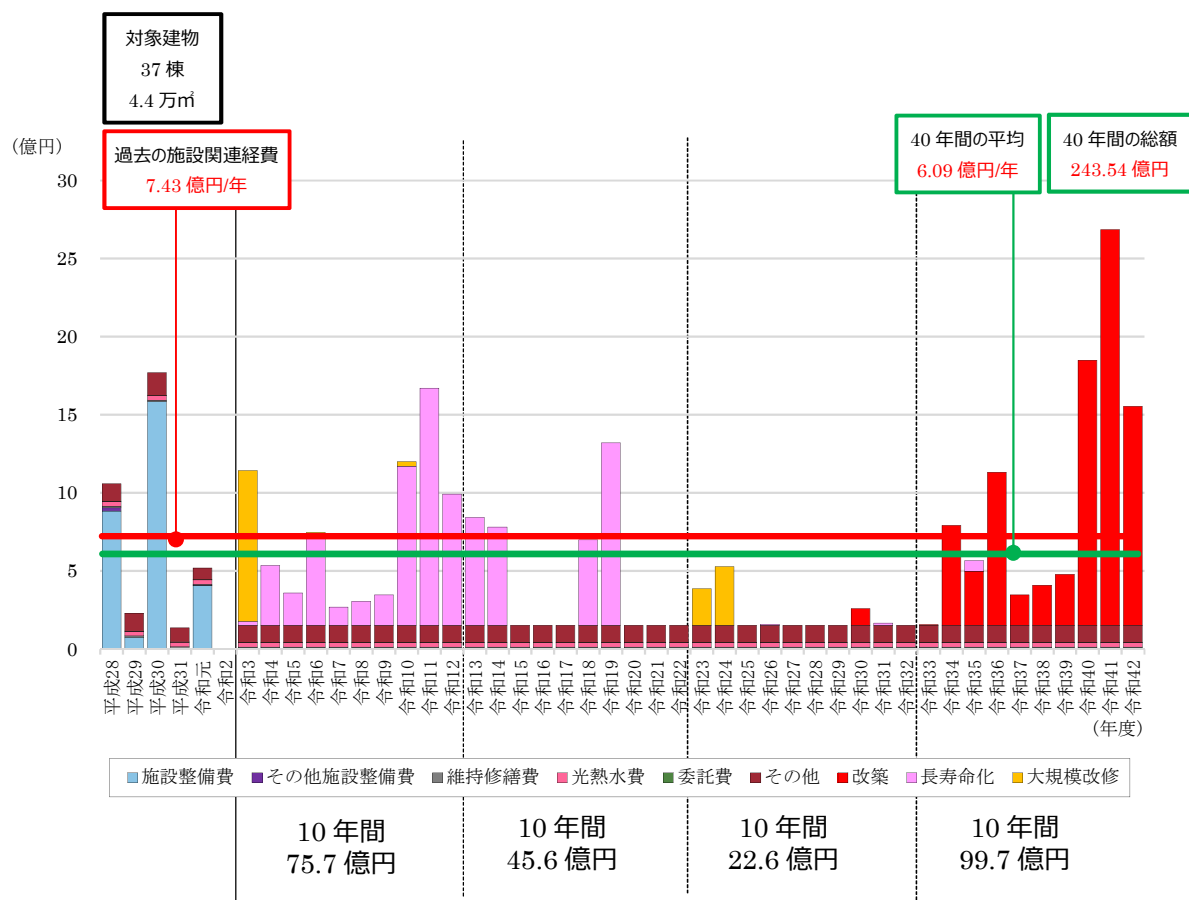


図 8：今後の維持・更新コストシミュレーション
全体(予防保全型（長寿命化型）)

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

① 学校施設の長寿命化計画の方針

公共施設等総合管理計画の基本方針	【公共建築物の縮減】 ● 老朽化や利用状況を考慮し、維持し続けることが適当でない施設は廃止します。 【公共施設等の安全確保】 ● 老朽化した公共施設等の廃止、統合、建替え、長寿命化等を計画的に実施し、限りある財源の中であっても選択・集中して整備を行うことで、安心・安全にご利用いただける公共施設を目指します。 【コスト縮減】 ● 効率的な運営・整備を行うことで公共施設にかかる将来的な財源不足を解消します。 ● 施設整備は長寿命化（修繕・改修等）、更新を主とし、原則、新規整備（新たな施設を建設すること）は行わない。例外として新規整備を行う場合も、既存施設との統合・複合化により施設総量を抑制します。
公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【学校】	【小学校】 ● 加悦地域の小学校は、加悦地域の小学校再編計画に基づき、平成32年度に加悦小学校に統合します。 ● 野田川地域は各学校の耐用年数を参考に、平成40年度までに、市場小学校の規模を大きくして建替え、統合します。もしくは町所有地を候補地として、統合小学校を新たに建設します。 ● 岩滝地域の小学校は、現在の施設量を維持します。 【中学校】 ● 現在の施設量を維持します。

学校施設の長寿命化計画の基本方針

- 予防保全型の維持管理、計画的な修繕や改修等の実施により、施設の長寿命化と財政負担の平準化を図ります。
- 必要となる改修や設備の設置等により、施設の快適性の向上を図ります。
- 児童生徒数の動向に注視しつつ、更新（改築）時における空き教室などの不要な教室の減築又は学校施設の統合を図ります。

② 学校施設の規模・配置計画等の方針

本町では、平成18(2006)年の合併以降、児童数の減少と財政負担という課題を抱える中で平成23(2011)年9月に教育委員会より提起された「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」について平成34(2021)年度での一斉統合を基本とし、旧町ごとに一つの既存校舎を活用する。」としています。小学校の再編については、岩滝地域は岩滝小学校、加悦地域は加悦小学校、野田川地域は市場小学校の現校舎を活用し統合します。再編の時期は一斉再編でなく、可能なエリアから速やかに再編を進めることとなっています。

中学校の再編については、学校等の適正規模適正配置に関する基本方針に従い、当面は現在の配置を維持していきます。

(2) 改修等の基本的な方針

① 長寿命化の方針

誰もが安全で安心して使用できる学校施設を目指すため、中長期的な視点に立ち、計画的に大規模改修と長寿命化改修を行い、学校施設を健全な状態に保ちつつ、可能な限り長く使用することを基本的な方針とします。

また、劣化箇所の修繕だけでなく、大規模改修や長寿命化改修により電気・機械設備、内部仕上のグレードアップを行い、安全性や機能性の高い学校を長期的に維持管理していくことを基本的な方針とします。

② 目標使用年数、改修周期の設定

目標使用年数は下図に示すとおり 80 年と設定します。改修周期は 25 年とします。

表 9：改修周期一覧

構造	予防保全型管理		
	大規模改修	長寿命化改修	改築
RC 造、S 造	25 年	50 年	80 年

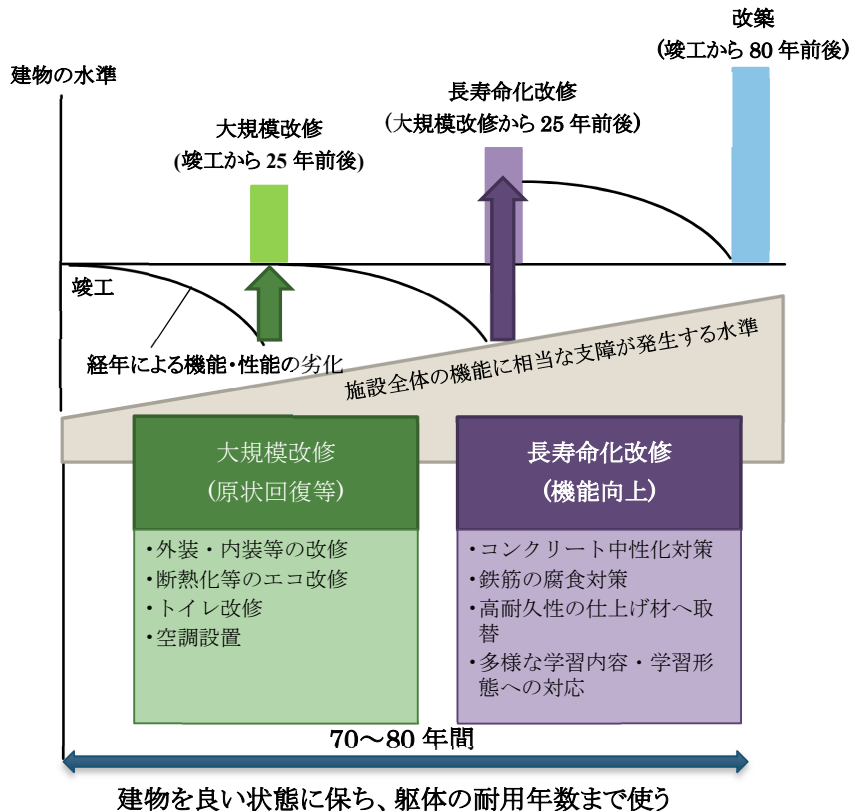


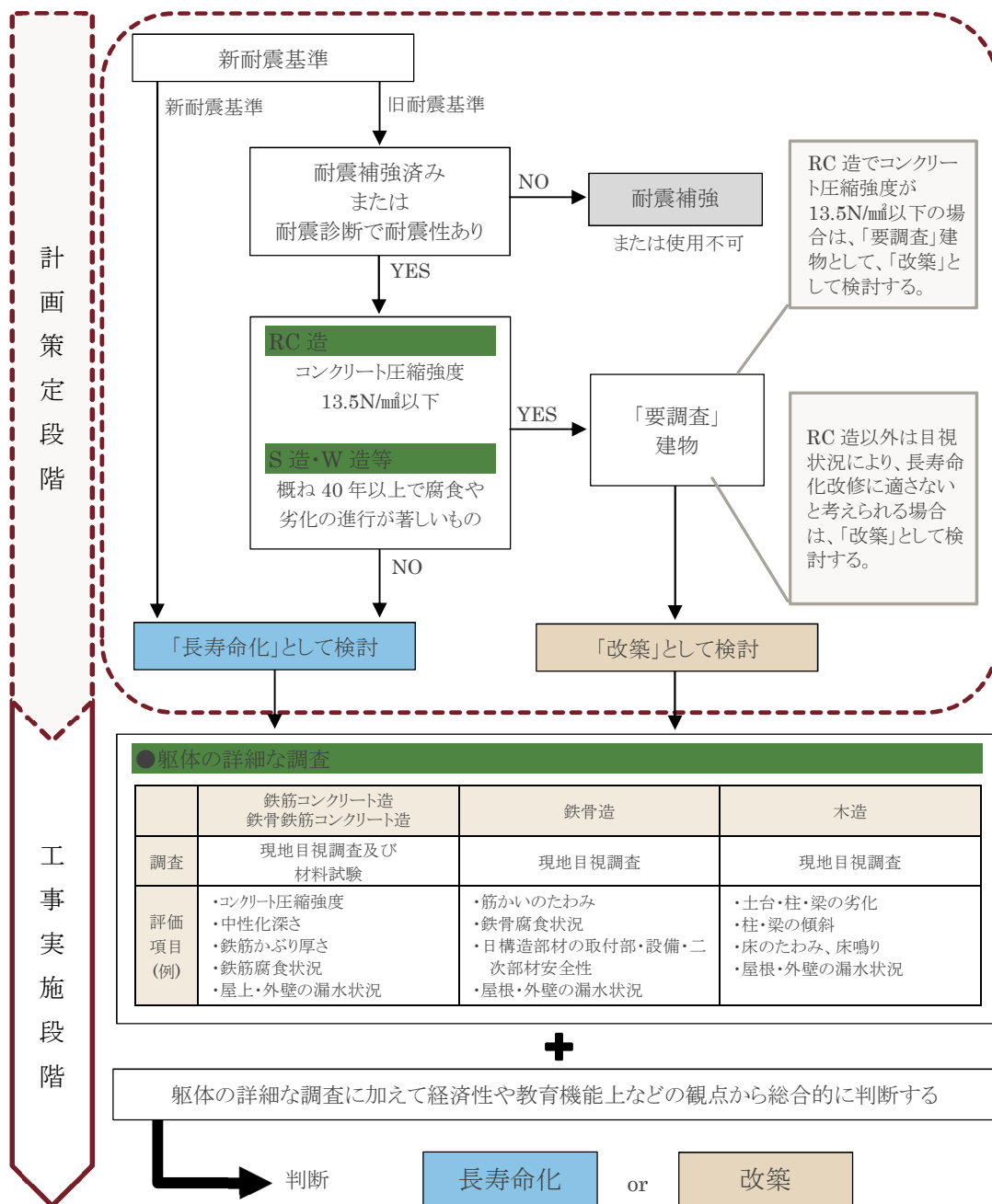
図 9：長寿命化のイメージ

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1)改修等の整備水準

① 長寿命化へのフロー

●長寿命化の判定フロー



「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」平成29年3月文部科学省より

(2)維持管理の項目・手法等

① 日常的な点検

日常的な点検については、学校を日常的に使用する教職員による確認が効果的であり、すべての学校において、点検を実施しています。

表 10：法定点検・自主点検等の周期

点検箇所	状 態	危険性	留意点
天井	- 天井ボードの外れ - 天吊りモニターのぐらつき - 天井のシミ	- 天井ボードやモニターの落下 - 雨漏り	漏水は専門家による調査が必要
床	- 床シートのはがれや摩耗 - 床タイルのはがれや割れ - 階段の滑り止め金物の外れ	床の凹凸によるつまずき転倒	応急措置が必要 床のぬれのふき取り等の対応
内壁等	- 壁モルタル等の亀裂 - ボードの割れ - トイレなどのタイルの割れや剥がれ - 木製扉その他建具等の劣化	- モルタルなどがかけ落ちる可能性あり - 木製建具等のささくれや突起物によるけが	木製建具等のささくれや突起物の処置 危険な箇所の応急措置と取り替え等
外壁	- 外壁、庇の亀裂 - 外壁モルタルの落下 - 鉄筋の露出	- モルタルの落下 - 放置すると損傷範囲が広がり露筋やコンクリートの中酸化	落下地点にバリアード 専門家による調査が必要
屋外階段	- 階段手すりのぐらつき - 鉄骨階段の錆	鉄部の腐食進行は早く、手すりや踏み板の劣化がみられる場合は避難時に支障	手すりの錆、ぐらつきの点検 錆が進行しないうちに塗装の塗り替え
屋外遊具施設等	- 鉄製遊具の錆 - 国旗掲揚ポール等の固定部、根元の腐食 - 鉄棒等支柱のぐらつき	鉄部の腐食進行は早く、突然倒壊する可能性	遊具はぐらつかないか、ボルトが緩んでいないか等の点検 鉄部の腐食は表面塗装でわかりにくい場合があるので専門家による定期点検が必要

② 法定点検・自主点検

これまでの施設維持管理情報に加え、定期的に安全性の確認や老朽化の状況の把握を行うために、建築基準法や関係告示を参考に有資格者による専門的な点検を適切な時期に実施します。

主な点検実施の周期を以下に示します。

表 11：法定点検・自主点検等の周期

点検・調査名	実施周期
建築基準法 第 12 条点検(建築物)	3 年以内毎に 1 回
建築基準法 第 12 条点検(建築設備)	1 年以内毎に 1 回
建築基準法 第 12 条点検(防火設備)	1 年以内毎に 1 回
消防法による消防用設備等点検(機器点検)	半年以内毎に 1 回
消防法による消防用設備等点検(総合点検)	1 年以内毎に 1 回
電気事業法による自家用電気工作物点検	1 年以内毎に 1 回
日常点検(自主点検)	適宜

③ 長寿命化に関する定期点検

長寿命化の観点から、概ね 5 年ごとにチェックシートを用いて定期点検を実施します。

劣化状況調査票						
西暦(年)		平成 年 月 日	調査員	調査日	令和 年 月 日	
学校名				記入者		
部室名				経費年度	年度()	
探査時刻	昼時開始			開始	地上	地下
部位	仕様 (製造する項目にチェック)	上記以外の項目に異常が 発生している内容	劣化状況 (検査設備等)	写真数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ ケーブル管、並列防水 ☐ 勾配排水(高気密型等、計画) ☐ 勾配排水(スレート、瓦葺) ☐ その他の塗料 ()		☐ 雨戸等に雨水溜りがある ☐ 天井等に雨水溜りがある ☐ 勾配等に雨水溜りがある ☐ 母体剥離・浮き・変形がある ☐ 歪み・ひび割れ・変質がある ☐ 腐食・カビ等生息を確認しない ☐ その他			0
2 外壁	☐ 塗り上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属板パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の材料 () ☐ ALC製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 遮熱サッシ、省エネガラス		☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 漆喰の剥がれ ☐ タイルや石が割れている ☐ 大欠け等の損傷 ☐ 窓・ドアの周りで漏水がある ☐ 窓・ドアに凍り・腐食・変形がある ☐ 付帯部や引掛の腐食、変形 ☐ 異音発着等を確認がある			0
部位	仕様・点検項目	劣化・点検年度	特記事項(劣化内容及び点検等による修繕要否)			評価
3 内部仕上 (床・壁・天井 (内部天井) (断熱工等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 木製床板 ☐ エポキシ ☐ トイレ改修 ☐ 正圧清浄 ☐ 校用LAN ☐ 空調設備 ☐ 非常電源装置 ☐ 非常照明 ☐ 防虫剤の取付け ☐ 非燃性塗料の使用対策 ☐ その他、内部改修工事					0
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 絶縁等の整設工事 ☐ 漏洩保護回路点検 ☐ その他、電気設備改修工事					0
5 暖冷給湯	☐ 熱水・温冷設備 ☐ 温水・温冷設備 ☐ 湯沸かし器の点検 ☐ その他、冷暖給湯改修工事					0

※記事後、劣化箇所等写真撮影し、写真添付、点検記録簿など、各種の記録等による修繕要否を有れば、該当部位と当該内容に記載。

健全度
 〇 / 100

第6章 長寿命化の実施計画

(1)改修等の優先順位付けと実施計画

① 改修等の優先順位

本計画における劣化状況調査結果により、「長寿命化改修」の対象になった施設について、各施設の大規模改修・長寿命化改修等の事業実施計画を以下の条件に基づき設定します。

- 1) 大規模改修を一度も実施していない築30年以上経過している建物を健全度調査の結果及び築年数等を考慮して、長寿命化改修を実施します。
単年度に事業が集中する場合は、以下の条件を基準に平準化を行います。
優先順位1:「屋根・屋上」、「外壁」にD評価がある校舎
優先順位2:「屋根・屋上」、「外壁」にD評価がある体育館・武道場
優先順位3:「屋根・屋上」、「外壁」にC評価がある校舎
優先順位4:「屋根・屋上」、「外壁」にC評価がある体育館・武道場
- 2) 平準化を実施した際に、「屋根・屋上」、「外壁」にD評価がある建物の事業実施年が2026年以降になった場合は、部位修繕を実施します。
- 3) 平準化を実施した際に、「屋根・屋上」、「外壁」にC評価がある建物の事業実施年が2031年以降になった場合は、部位修繕を実施します。
- 4) プール施設は、長寿命化改修を実施せず、大規模改修を築25年、築50年で実施します。
- 5) 長寿命化改修及び改築工事は2カ年で実施し、大規模改修工事は単年で実施し、単年度の事業数は1校程度とします。

② 事業費を算出する際の単価について

改修等の優先順位直近の工事履歴より校舎、体育館の改築単価を以下のように設定します。

また、長寿命化改修費は、改築費の60%、大規模改修費は、改築費の25%（体育館・武道場は22%）とします。

表12：単価

事業名	校舎・その他	体育館・武道場
改築	340 千円/㎡	430 千円/㎡
長寿命化改修	204 千円/㎡	258 千円/㎡
大規模改修	85 千円/㎡	95 千円/㎡

③ 5ヵ年の実施計画

①の改修等の優先順位を基に5ヵ年の実施計画を策定しました。

表 13：5ヵ年の実施計画

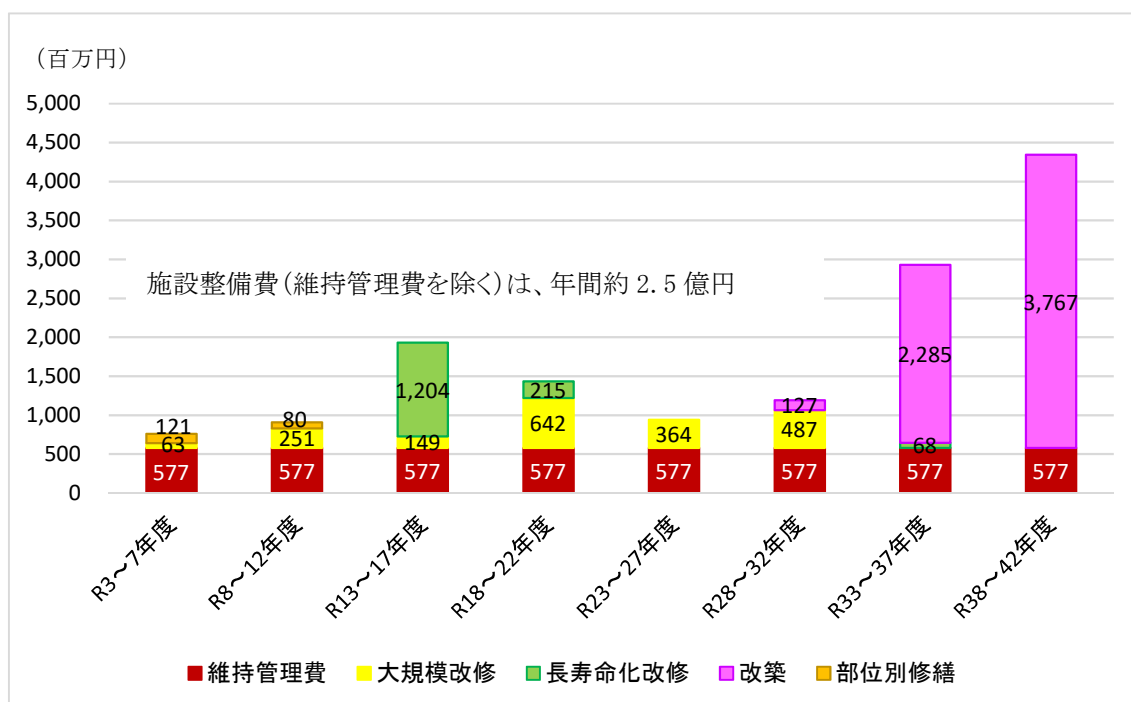
(年度) (事業内容)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)
部位修繕 (屋根・屋上)		加悦小 校舎 1	市場小 校舎 2	三河内小 校舎	石川小 校舎
部位修繕 (外壁)		加悦小 校舎 1	三河内小 体育館	山田小 体育館	
トイレ改修 (洋式化等)	橋立中 校舎・体育館	三河内小 校舎・体育館 市場小 校舎・体育館 山田小 校舎・体育館			

④ 40年間の実施計画

今後40年間の与謝野町立小中学校と橋立中学校の施設整備費は、総額約165.2億円、年間約4.1億円となります。また、修繕費や光熱水費、委託費等の維持管理費を除いた施設整備費は、年間約2.6億円必要となります。

40年間の実施計画を5カ年ごとの事業費を以下に示します。

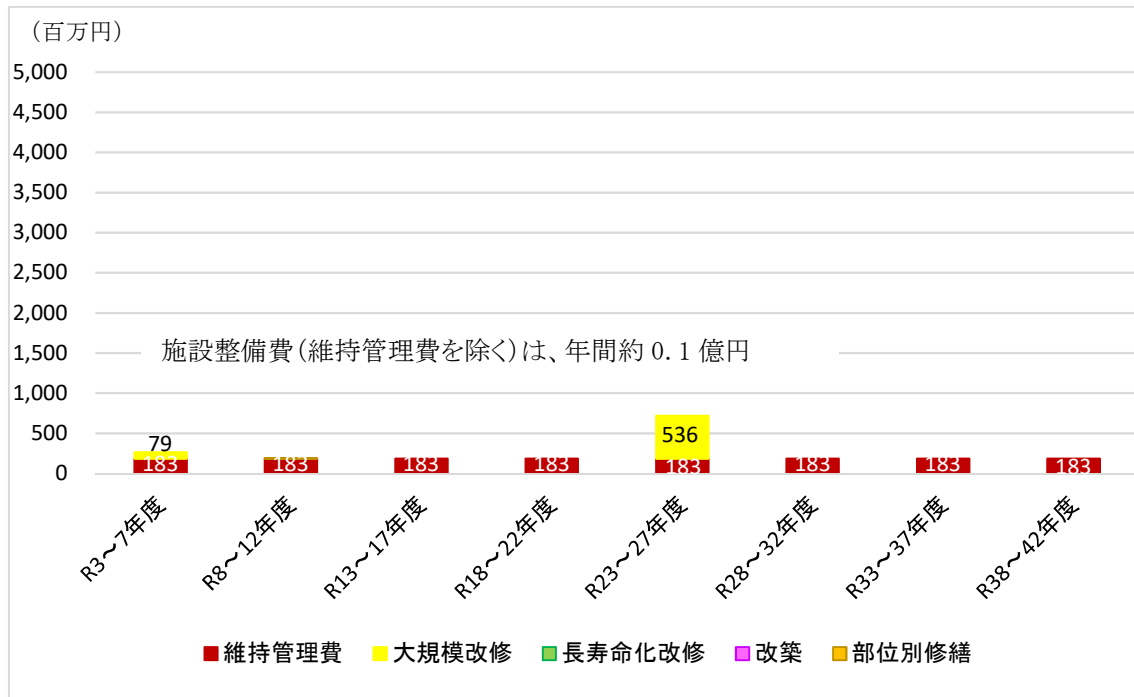
図表 23：与謝野町立小中学校の40年間の事業費



(単位：百万円)

(年度) (事業)	R3~7	R8~12	R13~17	R18~22	R23~27	R28~32	R33~37	R38~42
改築	0	0	0	0	0	127	2,285	3,767
長寿命化 改修	0	0	1,204	215	0	0	68	0
大規模 改修	63	251	149	642	364	487	0	0
部位修繕	121	80	0	0	0	0	0	0
計	184	331	1,352	857	364	613	2,353	3,767
維持 管理費	577	577	577	577	577	577	577	577
合計	761	908	1,929	1,434	941	1,190	2,930	4,344

図表 24：橋立中学校の 40 年間の事業費

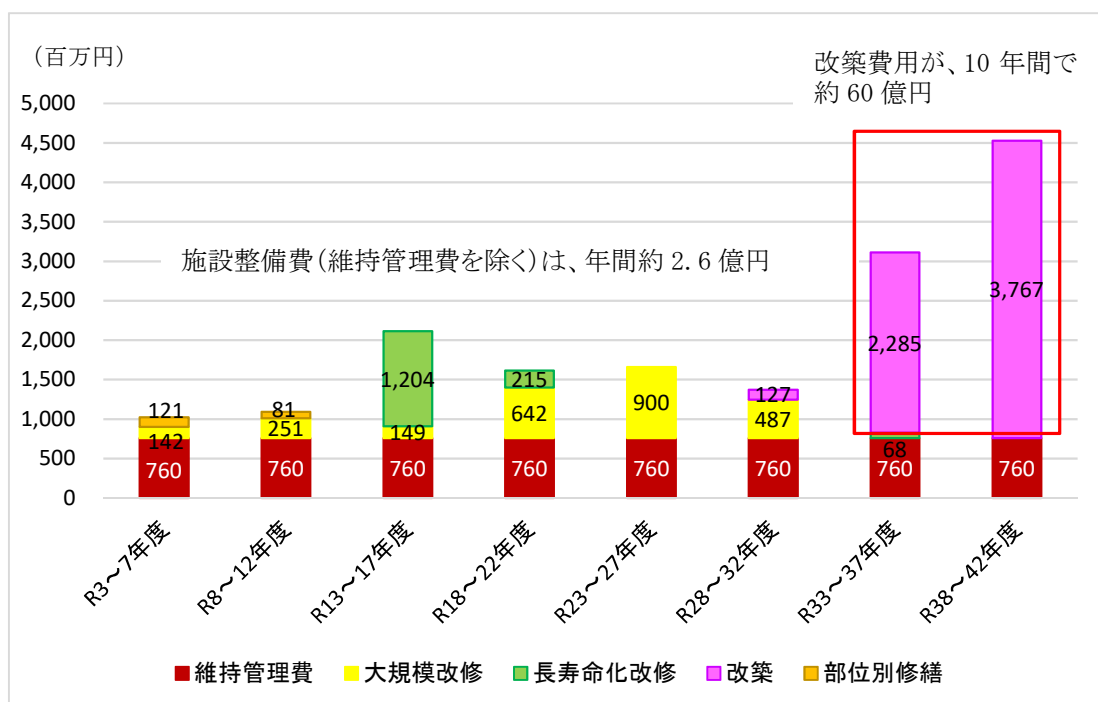


(単位：百万円)

(年度) (事業)	R3~R7	R8~R12	R13~R17	R18~R22	R23~R27	R28~R32	R33~R37	R38~R42
改築	0	0	0	0	0	0	0	0
長寿命化 改修	0	0	0	0	0	0	0	0
大規模 改修	79	0	0	0	536	0	0	0
部位修繕	0	0	0	0	0	0	0	0
計	79	0	0	0	536	0	0	0
維持 管理費	183	183	183	183	183	183	183	183
合計	262	183	183	183	719	183	183	183

	R3~R7	R8~R12	R13~R17	R18~R22	R23~R27	R28~R32	R33~R37	R38~R42
与謝野町 負担	147	103	103	103	403	103	103	103
宮津市 負担	115	81	81	81	316	81	81	81

図表 25：40 年間の事業費（全体）



(単位：百万円)

(年度) (事業)	R3~R7	R8~R12	R13~R17	R18~R22	R23~R27	R28~R32	R33~R37	R38~R42
改築	0	0	0	0	0	127	2,285	3,767
長寿命化改修	0	0	1,204	215	0	0	68	0
大規模改修	142	251	149	642	900	487	0	0
部位修繕	121	81	0	0	0	0	0	0
計	263	332	1,352	857	900	613	2,353	3,767
維持管理費	760	760	760	760	760	760	760	760
合計	1,023	1,092	2,112	1,617	1,660	1,373	3,113	4,527

(2)長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

本町の学校施設において、80%以上の建物が30年以上経過しています。さらに、その中で大規模改修を一度も実施したことがなく、劣化がかなり進行している建物があり、今後、維持管理費が急激に増加することが予想されます。

そのために、健全度調査の結果や今後の学校施設の配置や規模等を考慮し、優先順位をもって、計画的に整備していくことが必要となります。

また、これまでの維持管理手法である不具合が発生した後に修繕等を実施する「事後保全型」ではなく、日常点検を実施し、施設の損傷が軽微な内に改修等を実施する「予防保全型」へと移行し、今後の長期的な施設整備費の縮減等を図る必要があります。

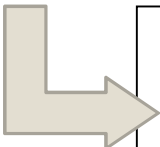
維持管理手法を事後保全型から予防保全型へ移行した場合の試算シミュレーションは、P28の「図4：今後の維持・更新コストシミュレーション全体（事後保全型）」及びP35の「図8：今後の維持・更新コストシミュレーション全体（予防保全型（長寿命化型）」に示すとおりであり、ある程度の縮減効果は、期待することができます。

しかし、今後予測される人口減少や少子高齢化に伴う税収の減少により、学校施設の施設整備費をさらに削減する必要があることが予測されます。

そこで、すべての建物の使用目標年数を80年に設定し、改修周期を設定し、今後40年間の計画的な改修計画を策定しました。

その結果、総額約165.2億円、年間約4.1億円まで縮減した計画（P45「図表25：40年間の事業費（全体）」）となりましたが、令和33(2051)年以降に多くの棟が改築時期に達し、改築費用が10年間で60億円を超える費用が発生することになります。従って、それまでに、学校全体の最適な配置・規模や他の施設との複合化等の検討を進める必要があります。

表14：維持管理手法別の試算シミュレーション

	40年間		年間	
	総額	縮減額	費用	縮減額
事後保全型	273.7億円		6.9億円/年	
与謝野町立小中学校	226.3億円		5.7億円/年	
橋立中	47.4億円		1.2億円/年	
予防保全型	243.5億円	30.2億円	6.1億円/年	0.8億円/年
与謝野町立小中学校	213.2億円	13.1億円	5.3億円/年	0.4億円/年
橋立中	30.3億円	17.1億円	0.8億円/年	0.4億円/年
 40年間の実施計画 総額：約165.2億円 年間：約4.1億円 与謝野町立小中学校 総額：約144.4億円 年間：約3.6億円 橋立中学校 総額：約20.8億円 年間：約0.5億円				

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

- 計画の見直し等を行うための基礎資料とするため、以下のような情報の整備を図り、実効性のある予算措置を設定できる事業サイクルを確立します。
- 日常点検や定期点検により明らかとなる緊急性を要する修繕・更新事項、優先順位の高い修繕・更新事項などの情報を一元化します。
- 一元化した情報を庁内関係各課や営繕担当者、各学校と共有して連携を図るとともに、長寿命化計画に反映させ優先順位を見直すことで、継続的に運用できるメンテナンスサイクルの構築を図ります。

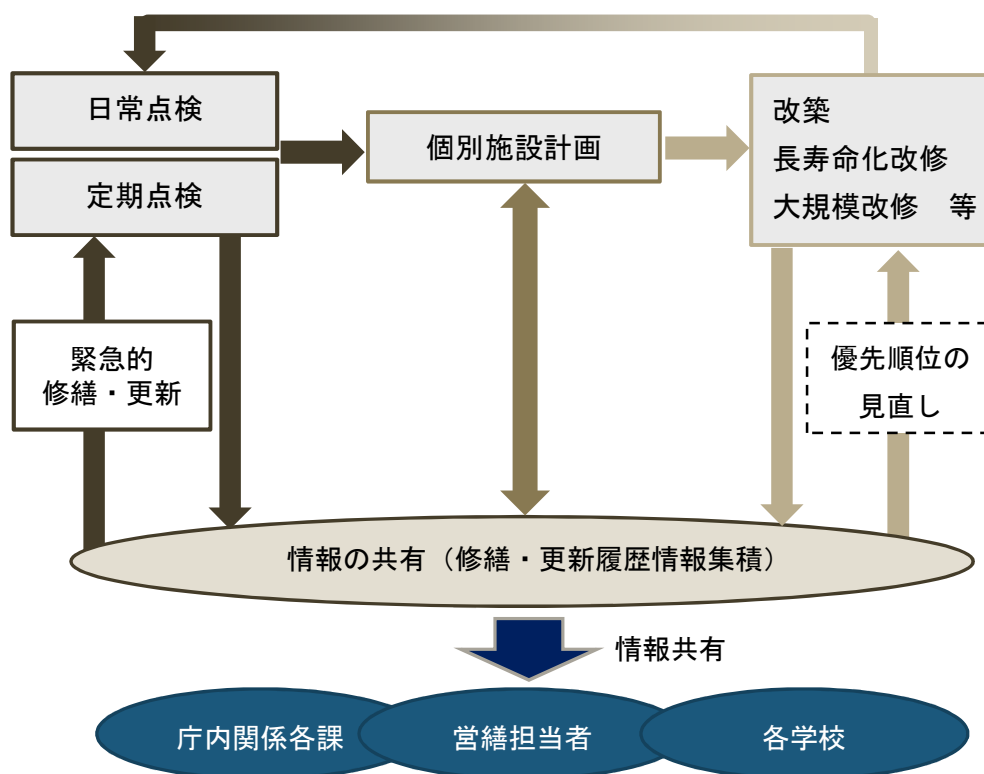


図 10：情報基盤の整備と活用

(2) 推進体制等の整備

効果的な学校施設の長寿命化計画を策定し、継続的に運用し、安全で快適な学校施設を維持するためには、「学校・町・専門事業者」が連携した維持管理体制が重要となります。

この体制をより強化するためには、施設情報や点検記録、修繕履歴、今後の修繕・改善計画など情報を共有することが効率的かつ効果的です。

- A. 学校（日常的な使用者）

施設・設備の機能の異常は日常的に使用する教職員が把握しやすいため、教職員による日常的な点検により、その変化を速やかに報告し、修繕・更新依頼を行います。

また、日常点検で発見した軽微な異常については、教職員が直接専門業者に修繕依頼し、学校施設を正常な状態に維持します。

- B. 町（設置管理者）

町は、学校施設を定期的に見回るほか、法令に定められた定期点検等を専門業者に依頼し、適切に修繕・更新を実施し維持管理を行います。

また、教職員からの異常箇所の報告を受けたものに対する措置をし、今後の維持管理のために、その修繕・更新などの履歴情報を管理します。

- C. 専門事業者（施工業者等）

町から要請を受けた専門事業者は、町との連携を密にし、効果的で効率的な定期点検・修繕・更新の実施に努めます。

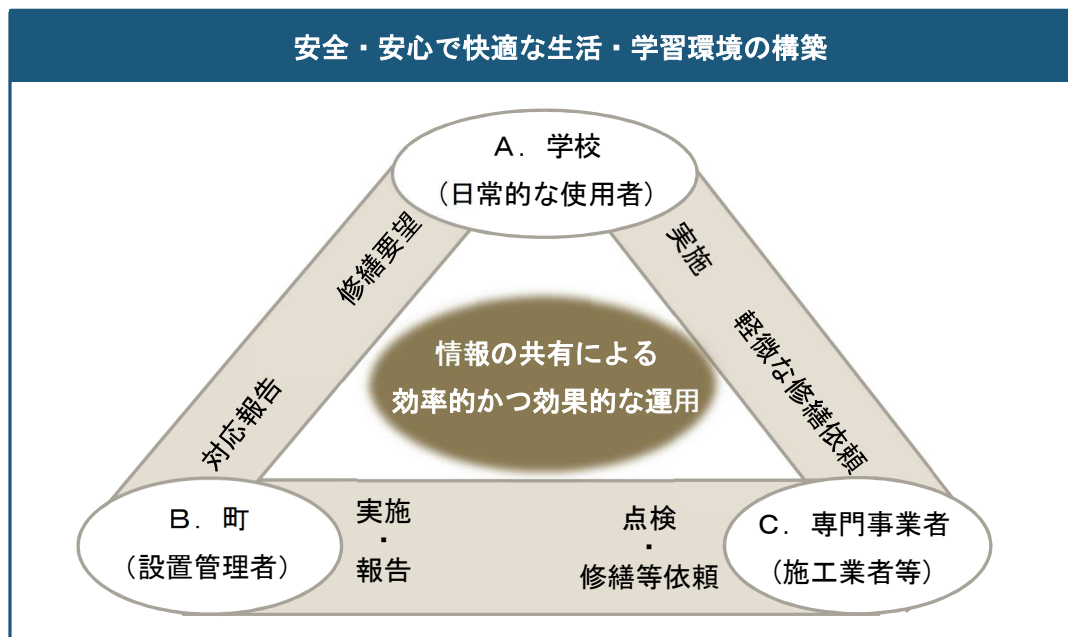


図 11：情報基盤の整備と活用

(3)フォローアップ

- 整備計画の整備方針に基づき学校施設を維持させていくことを前提に学校施設の改修等の優先順位を設定するものですが、事業の進捗や点検等から得られる学校施設の状況を踏まえ、また、町全体の財政計画や個別の事業費の精査などにより、概ね5年ごとに計画の見直しを行います。

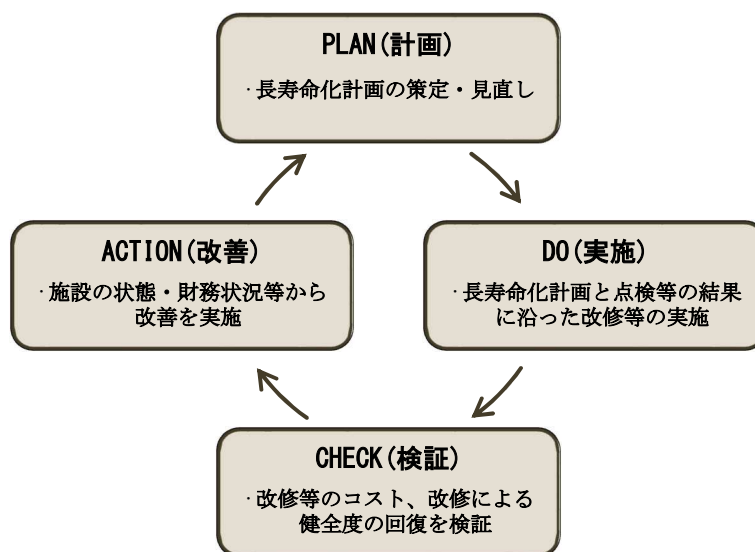


図 12：PDCA サイクル